

尼崎市子ども・子育て審議会

第2回計画策定部会 次第

日時：平成30年11月2日（金）

午後6時30分～

場所：中央公民館小ホール

1 議題

(1) ニーズ調査の設問設計に当たっての留意点等について

(2) ニーズ調査票＜就学前・小学生＞（案）について

(3) 中高生向け意識調査票（案）について

(4) その他

以 上

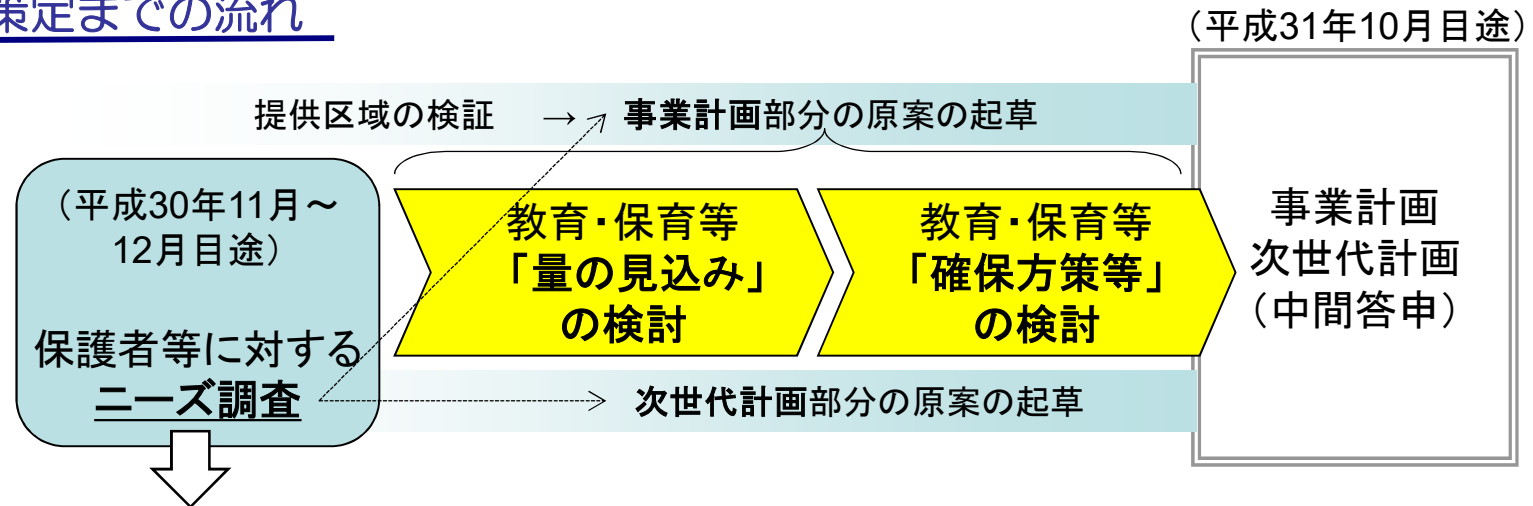
尼崎市子ども・子育て審議会計画策定部会委員名簿

No.	選 出 区 分	氏 名	所 属 等
1	学識経験者（児童福祉専攻）	イトウ カヨ 伊藤 嘉余子	大阪府立大学 地域保健学域教育福祉学類
2	学識経験者（教育専攻）	◎ タキガワ コウジ 瀧川 光治	大阪総合保育大学 児童保育学部
3	学識経験者（児童福祉専攻）	ヤマト ハルキ 大和 晴行	武庫川女子大学 文学部教育学科
4	特別委員（学識経験者）	○ イトウ アツ 伊藤 篤	甲南女子大学 人間科学部総合こども学科
5	特別委員（学識経験者）	ナカオ シゲキ 中尾 繁樹	関西国際大学 教育学部教育福祉学科
6	児童福祉又は学校教育の関係者	タカニ ヒロシ 高谷 浩司	尼崎市PTA連合会
7	児童福祉又は学校教育の関係者	ナカミ シホ 鳴神 志保子	尼崎法人保育園会
8	児童福祉又は学校教育の関係者	ハマナ ヒロシ 濱名 浩	尼崎市私立幼稚園連合会
9	児童福祉又は学校教育の関係者	ヤマモト チヒロ 山本 千尋	尼崎市医師会
10	子ども及びその保護者を 支援する団体	ホリカワ カヨ 堀川 佳代子	尼崎市子育てサークル実行委員会
11	市民の代表者	タマキ マスミ 玉木 真澄	就学前の子どもの保護者
12	市民の代表者	ヨシザワ ナコ 吉澤 直子	就学後の子どもの保護者

◎：部会長 ○：副部会長

（平成30年11月2日現在 敬称略／選出区分ごとに50音順）

1. 計画策定までの流れ



○事業計画で、教育・保育等の「量の見込み」の算出に当たっては、保護者の現在の利用状況に加えて、利用希望の把握等をもとに推計することが義務化されている。
(※子ども・子育て支援法第61条第4項)

2. 利用希望の把握に係る国の考え方

- 主に0～5歳(就学後については任意)を対象に、アンケート調査の方法により把握
- アンケート調査は、国から、「調査票のイメージ」(参考資料3)が示され、全国共通の必須項目として、「量の見込み」の推計上必要な項目を設定(それ以外は任意項目)
- 事業区分を、①幼児期の教育・保育⇒定期的に利用する事業、②地域の子育て支援⇒その都度の不定期的に利用する事業の大きく2グループに分けて項目整理
- 就労状況は、今後の就労希望も含めて把握
- 次世代計画策定時のニーズ調査における課題点(特に過大にニーズが算出される傾向)を考慮 など
 - ⇒ 就労希望時期や就労形態等について複数の選択肢を設ける、一定の利用料が発生することを明記するなど

3. 「量の見込み」の算出等の国の考え方【資料1－2】

- 前回事業計画策定時の「国の手引き」(参考資料2)を参照しながら、「量の見込み」を算出することが示された。
なお、今回の「国の手引き」(参考資料1)は、前回策定時以降の状況の変化などを踏まえ、追記・修正があったもの。

4. ニーズ調査実施要領

- 1 調査地域 尼崎市内全域 (前回 同様)
- 2 調査対象・件数 ① 尼崎市内在住「就学前児童」のいる世帯の保護者 3,000人 (前回 2,000人)
② 尼崎市内在住「小学生」のいる世帯の保護者 3,000人 (前回 2,000人)
(うち、小学生高学年の場合は、直接本人が回答する設問を設定 1,500人) (前回 なし)
- 3 調査時期 平成30年11月～12月(調査票が確定次第、速やかに実施) (前回 平成25年9月～10月)
- 4 調査方法 住民基本台帳をもとに、対象児童のいる世帯を無作為抽出し、郵送配布・郵送回収 (前回 同様)
- 5 予定回収率 「就学前児童」調査 約55% (前回 56.6%)
「小学生」調査 約55% (前回 54.1%) } 調査合計 約55% (前回 55.4%)
- 6 調査票(案) 資料2－1<就学前>、資料2－2<小学生>のとおり ※前回実施のニーズ調査を参考に設問設計

5. ニーズ調査項目の検討に当たっての視点

- ① 今後計画に記載していくべき内容に関連した設問が入っているか。
- ② 社会情勢の変化や尼崎市の課題等を踏まえつつ、独自設定の設問等をどうするか。
- ③ 上記①②による設問数増への回答者の負担感を減らすため、設問の集約や削除等をどうするか。
- ④ 調査票全体のボリューム、設問の流れ、レイアウト、表現のしかたなどが適当かどうか。

国の「量の見込み」の算出等の考え方に対する必要な対応等

項目	概要	必要な対応・検討事項	備考
1 提供体制確保の実施時期の設定	計画における提供体制確保の実施時期は、「子育て安心プラン」において目標年次としている 2020 年度末までに、量の見込みに対応する教育・保育施設及び地域型保育事業を整備することを目指し、設定する。	- 確保方策の検討において、2020 年度末までに待機児童をゼロにするよう確保方策を設定する。 2022 年までの量の見込みについて、M 字カーブの解消による女性の就業率の増加を加味して算出する。	
2 量の見込みの算出に用いる子どもの年齢について	量の見込みの算出に用いる子どもの年齢については、「調査又は抽出時における年齢」が回答時点における年齢に最も近く、各年齢のニーズをより適切に把握できると考えられるが、市町村の判断で 4 月 1 日時点での年齢（学年齢）とすることも可能。	人口推計において、年度当初、年度中、年度末等算出したい量の見込みの時点に応じて、人口推計の基準日を検討する必要がある。	
3 トрендや政策動向、地域の実情等の考慮	量の見込みの算出に当たっては、トレンドや政策動向、地域の実情等を十分に踏まえるとともに、子育て安心プラン実施計画との整合性の確保を図りつつ、必要に応じて補正を行うこと。（特に、保育の受け皿整備の進捗による潜在需要の喚起や、女性就業率の上昇傾向に留意）	- ニーズ調査において、幼児教育・保育の無償化がされた場合のニーズを聞く設問を盛り込む、あるいは今後のサービスの利用希望を聞く設問について、無償化を前提とした聞き方とする。 - ニーズ調査において、確保方策の優先度を考える上で、大規模な保育施設を求めているのか、小規模でも歩いていけるところを求めているのかなど、どのような観点から今の教育・保育を選んでいるのかといった点について聞く設問を設ける。	
4 都市開発部局との十分な情報共有	大規模マンション等の開発が行われる際には、量の見込みを大きく変動させる要因となり得ることから、必要に応じて補正を行うこと。	大規模マンション等の開発が行われるのであれば、量の見込みの基礎となる人口推計に上乗せする。	
5 0 歳児保育の量の見込み	0 歳児保育の量の見込みについては、育児休業の取得状況の実態等を踏まえ、よりニーズの実態に近いものとなるよう、適切に量を見込むこと。	ニーズ調査の育児休業の取得状況に関する設問を勘案し、「1 歳から必ず利用できる事業があれば、1 歳になるまで育児休業を取得したい」者等を 0 歳児保育のニーズに補正する。	
6 「調査票のイメージ」における設問の修正	ニーズ調査における現在利用している教育・保育サービスの選択肢に「小規模な保育施設」を追加すること。	ニーズ調査において、現在利用している教育・保育サービスの選択肢に「小規模な保育施設」を追加する。	

項目	概要	必要な対応・検討事項	備考
7 共働き等家庭の子どもの幼稚園利用について	共働き等家庭の子どもの幼稚園利用について、正確にニーズを把握することを目的として、調査票に「特に幼稚園の利用を強く希望しますか。」を追加する。	ニーズ調査において、新たに幼稚園の利用を強く希望するかを、問う設問を追加する。	
8 企業主導型保育施設の地域枠の活用	企業主導型保育施設の設置者と市町村が調整を行い、地域枠について市町村の利用者支援の対象とした場合には、2号認定子ども及び3号認定子どもに係る教育・保育の提供体制の確保の内容に含めて差し支えない。	- 量の見込みに対する確保方策について、企業主導型保育の欄を設ける。 - 企業主導型保育の提供量の設定については、市内の企業主導型保育の実態把握が必要。 - 市民のニーズとしては、「事業所内保育が整備されていれば利用したいか」という設問をニーズ調査に追加し、市内外の利用希望と組み合わせて把握することが考えられる。	
9 特定教育・保育施設等の定員の取扱い	- 必要利用定員総数が当該年度よりも翌年度が上回る場合には、翌年度の必要利用定員総数に基づき需給調整を行う。 - 新たに整備を行った保育所や認定こども園については、運営開始後1～3年目は4・5歳児定員を少なく設定し、2年目以降、入所児童の進級に伴い、4・5歳児の定員の増加を図るなど、施設側と調整し、地域の保育ニーズに伴い、柔軟な定員設定を行う。	新設の保育所や認定こども園の確保方策について、0～2歳児のニーズを踏まえて、4・5歳児定員との調整を図る。	
10 放課後児童健全育成事業の量の見込み	2023年度末までに放課後児童クラブの約30万人分の更なる受け皿の拡大を踏まえ、量の見込みを算出。 - 小学校2年生以上の量の見込みについては、これまでの放課後児童健全育成事業の利用の伸び率や小学校1年生に係る量の見込みとのバランスを見ながら、適切な数字を算出する。 - 利用の申し込みや登録児童・待機児童の実績値の分析に加え、保育所の新設や大規模マンションの新設等、今後、量の見込みを大きく変動させ得る要因の動向の分析や小学校4年生以上の高学年児童の利用ニーズの分析を踏まえ、適切な補正を行う。	- ニーズ調査結果から算定する量の見込みと、事業の利用の伸び率に基づく量の見込みとを比較検討しながら量の見込みを設定する。 - ニーズ調査において、小学校4年生以上の高学年児童が放課後児童クラブを希望する理由を聞き、放課後子ども教室等で代替できるものか検討する。	
11 子育て短期支援事業の量の見込み	子育て短期支援事業の量の見込みについては、ニーズ調査の結果に加え、市町村における児童虐待相談等から、保護者の育児疲れや育児不安などの事由により事業の活用が想定される数を算出し、量の見込みに加えるなど、適切な補正を行う。	ニーズ調査結果から算定する量の見込みと、事業の利用の伸び率に基づく量の見込みとを比較検討しながら量の見込みを設定する。	
12 利用者支援事業の量の見込み	基本型・特定型と母子保健型を分けて計画に記載する。	保健師等の専門職が、母子保健に関する相談にも対応する母子保健型利用者支援事業を区別して、利用者支援事業の確保方策を設定する。	

尼崎市 子ども・子育て支援に係るニーズ調査票＜就学前＞（案）

※ この調査票において「お子さん」とは、この調査票を送付した際の封筒の「宛名のお子さん」のことを指します。

必須 問1 この調査票をご記入いただく方（あなた）は、お子さんからみて、どなたですか。（1つに○を記入）

1. 父親 2. 母親 3. その他（ ）

必須 問2 あなたの配偶者（パートナー）について、お答えください。（どちらかに○を記入）

1. 配偶者（パートナー）がいる 2. 配偶者（パートナー）がいない

お子さんとお家族の状況について

必須 問3 お子さんの生年月をお書きください。（数字を記入）

平成 年 月生まれ

任意 問4 家族の人数とお子さんを含めたきょうだいの人数をお書きください。（数字を記入）

①	家族の人数	_____人家族
②	きょうだい数	_____人きょうだい

必須 問5 お子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのは、そのお子さんからみて、どなたですか。（1つに○を記入）

1. 父母ともに 2. 主に母親 3. 主に父親
4. 主に祖父母 5. その他（ 具体的に 例）知人、近所の人、上記以外の親族など ）

独自 問6 ご家族の世帯年収は次のどれにあたりますか。（1つに○を記入）なお、育児休業による収入減や臨時的な収入増など、一時的な増減は考えず、通常時の収入としてください。

※ 家族とは、問4①で答えていただいた方全員のことです。

1. 収入なし	2. 100万円未満	3. 100～200万円未満
4. 200～300万円未満	5. 300～400万円未満	6. 400～500万円未満
7. 500～600万円未満	8. 600～700万円未満	9. 700～800万円未満
10. 800～900万円未満	11. 900～1,000万円未満	12. 1,000万円以上
13. わからない		

お住まいの地域などについて

必須

問7 お住まいの住所をお書きください。

町 丁目 番 【記入例：東七松町1丁目23番】

独自

問8 尼崎市にお住まいになって、通算して何年になりますか。（1つに○を記入）

- | | | |
|--------------|---------------|---------------|
| 1. 1年未満 | 2. 1年以上3年未満 | 3. 3年以上5年未満 |
| 4. 5年以上10年未満 | 5. 10年以上15年未満 | 6. 15年以上20年未満 |
| 7. 20年以上 | | |

任意

問9 緊急時や用事の際に、お子さんをみてくれる人はいますか。（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|-------------------|---------------------|
| 1. 祖父母等の親族にみてもらえる | 2. 仲のよい友人や知人にみてもらえる |
| 3. 近所の人にみてもらえる | 4. いずれもない |

お子さんの保護者の就労状況について

☆ 問10～問12は、ひとり親家庭の場合は、該当する部分のみ記入してください。

必須

問10 お子さんの母親・父親の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）について、お答えください。（あてはまるものに○を記入）

	母親	父親
フルタイム※で就労中		
フルタイム就労だが、産休・育休・介護休業中		
フルタイム以外で就労中		
フルタイム以外の就労だが、産休・育休・介護休業中		
以前は就労していたが、現在は就労していない		
これまで就労したことがない		

太枠内にひとつでも○がついた場合には、その方について、問10-1へ。それ以外の方は問11へ。

※ フルタイムは、1週5日程度、1日8時間程度の就労を指します。
正規・非正規（派遣・アルバイト等）にかかわらず、時間で判断をしてください。

独自

問10-1 就労されている場合、通常時の勤務地と通勤時間（片道）について、お答えください。また、市外で勤務している場合は、（ ）内に具体的な市町名もお書きください。（あてはまるものに○、数字を記入）

	勤 務 地		通勤時間（片道）
記入例	1. 尼崎市	2. 尼崎市外⇒（市・町）	0時間30分
母親	1. 尼崎市	2. 尼崎市外⇒（市・町）	__時間__分
父親	1. 尼崎市	2. 尼崎市外⇒（市・町）	__時間__分

任意

問 10-2 就労されている場合、通常時の就労日数や土曜・日曜の就労の有無、就労時間、家を出る時刻について、お答えください。(あてはまるものに○、数字を記入)

	1週当たり の就労日数	土曜・日曜の 就労の有無	一日当たり の就労時間	家を出る時刻 (24時間で記載)
記入例	5日	① 土曜 2. 日曜	8時間	7時45分
母親	__日	1. 土曜 2. 日曜	__時間	__時__分
父親	__日	1. 土曜 2. 日曜	__時間	__時__分

必須

問 10-3 フルタイム以外で就労されている場合 (問 10 で太枠内の斜線の欄内に○がついた方)、フルタイムへの転換希望等について、お答えください。(あてはまるものに○を記入)

	母親	父親
フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みあり		
フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みなし		
フルタイム以外での就労を続けることを希望		
就労をやめて、子育てや家事に専念したい		

☆ 問 10 で「以前は就労していたが、現在は就労していない」「これまで就労したことがない」に○がついた方(太枠内に○がつかなかった方)にうかがいます。それ以外の方は問 12 へ。

必須

問 11 就労についての希望をお答えください。(あてはまるものに○、数字を記入)

	母親	父親
就労の予定はない(子育て、家事、病気、障害があるなどの理由で)		
すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい		
1年より先、就労したい (就労開始時期はお子さんが何歳になる頃ですか。)		
	歳	歳

太枠内にひとつでも○がついた場合には、その方のことについて、問 11-1 へ。

必須

問 11-1 問 11 で太枠内に○がついた場合に、希望する就労日数や土曜・日曜の就労希望の有無、就労時間をお答えください。(あてはまるものに○、数字を記入)

	1週当たり の就労日数	土曜・日曜の 就労希望の有無	一日当たり の就労時間
記入例	5日	① 土曜 2. 日曜	8時間
母親	__日	1. 土曜 2. 日曜	__時間
父親	__日	1. 土曜 2. 日曜	__時間

☆ お子さんについて、育児休業を取得し、復職された方（現在、取得中の方は除きます）にうかがいます。**それ以外の方は問 13 へ。**

独自 問 12 お子さんについて、育児休業を取得されたのは、どなたですか。（1つに○を記入）

1. 父親	2. 母親	3. 父母ともに
-------	-------	----------

任意 問12-1 育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何か月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、「希望」としては何歳何か月のときまで取りたかったですか。また、復帰するきっかけはなんでしたか。（あてはまるものに○、数字を記入）

(1)母親(お子さんの年齢を記入)		(2)父親(お子さんの年齢を記入)	
①実際の取得期間	____ 歳 ____ か月まで	①実際の取得期間	____ 歳 ____ か月まで
②希望の取得期間	____ 歳 ____ か月まで	②希望の取得期間	____ 歳 ____ か月まで
③復帰のきっかけ	1 年度初めに保育所などの教育・保育事業を利用する 2 祖父母等に預ける 3 その他	③復帰のきっかけ	1 年度初めに保育所などの教育・保育事業を利用する 2 祖父母等に預ける 3 その他

定期的な幼稚園・保育所などの利用状況について

平日の利用

必須

問 13 お子さんは、平日、どのような施設等を定期的に利用していますか。(あてはまるものすべてに○、1～8を選択した場合、下の欄内に施設名又は事業者名を記入)

- | | |
|--|---|
| 1. 幼稚園
(市立幼稚園又は兵庫県などの認可を受けた幼稚園
通常の就園時間の利用・預かり保育なし) | 2. 幼稚園の預かり保育
(週4日以上での定期的な利用のみ・たまに利用する場合は除く) |
| 3. 保育所(園)
(兵庫県や尼崎市などの認可を受けた認可保育所・定員20人以上) | 4. 認定こども園
(保育所(園)・幼稚園のうちで、兵庫県や尼崎市などの認定を受けた施設) |
| 5. 事業所内保育施設
(企業や病院が主に従業員の子どもの保育のために運営する施設) | 6. 居宅訪問型保育(ベビーシッター)
(保育者が子どもの家庭で保育する事業) |
| 7. その他の認可外の保育施設
(一般に「無認可保育所」などと呼ばれています) | 8. 小規模な保育施設
(規模が小さい(定員6～19名) 尼崎市の認可を受けた施設) |
| 9. 家庭的保育
(保育者の家庭等で5人以下の子どもを保育する事業) | 10. ファミリーサポートセンター
(週4日以上での定期的な利用のみ・たまに利用する場合は除く) |
| 11. 児童発達支援センター
(あこや学園やたじかの園など) | 12. その他 () |
| 13. 利用していない | |

施設名又は事業者名を教えてください(複数可)

☆ 問 13 で「13. 利用していない」に○がついた方にうかがいます。それ以外の方は問 13-2 へ。

任意

問 13-1 幼稚園・保育所等の施設を利用していない理由をお答えください。

(あてはまるものすべてに○を記入)

- | | |
|-----------------------|-------------------------|
| 1. 施設や事業に空きがないため | 2. 経済的な理由のため |
| 3. 利用したい時間帯の条件が合わないため | 4. 質や場所など、納得できる事業がないため |
| 5. 対応できない年齢のため | 6. 子どもに病気や障害があるため |
| 7. 祖父母や親戚の人がみているため | 8. 近所の人や父母の友人・知人がみているため |
| 9. 父母のうち一方が就労していないため | 10. 自分で子育てがしたい |
| 11. その他 () | |

☆ 問 13 で、「1～12」に○がついた方にうかがいます。それ以外の方は問 16 へ。

必須

問 13-2 お子さんが現在利用している施設は市内または市外のどちらですか。(どちらかに○を記入)
また、市外で利用している場合は、() 内に具体的な市町名もお書きください。

1. 尼崎市内で利用している 2. 尼崎市以外で利用している⇒ (市・町)

必須

問 13-3 現在、どのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。
(数字を記入)

(1) 現在

1 週当たり ____ 日 1 日当たり ____ 時間 (____ 時～ ____ 時)

(例) 9 時～18 時

(2) 希望

1 週当たり ____ 日 1 日当たり ____ 時間 (____ 時～ ____ 時)

(例) 9 時～18 時

独自

問 13-4 お子さんの施設の利用にかかる 1 か月当たりの費用はいくらですか。入園金、バス代、教材費などは除いた、毎月かかる経費でお答えください。(1 つに○を記入)

- | | | |
|--------------------------|--------------------------|--------------------------|
| 1. 5,000 円未満 | 2. 5,000 円以上 10,000 円未満 | 3. 10,000 円以上 15,000 円未満 |
| 4. 15,000 円以上 20,000 円未満 | 5. 20,000 円以上 30,000 円未満 | 6. 30,000 円以上 40,000 円未満 |
| 7. 40,000 円以上 50,000 円未満 | 8. 50,000 円以上 60,000 円未満 | 9. 60,000 円以上 70,000 円未満 |
| 10. 70,000 円以上 | | |

独自

問 13-5 問 13-4 の費用について、負担を感じますか。(1 つに○を記入)

- | | | | |
|-----------|----------|------------|-------------|
| 1. とても感じる | 2. まあ感じる | 3. あまり感じない | 4. まったく感じない |
|-----------|----------|------------|-------------|

幼稚園の預かり保育（延長保育）について

☆ 問 13 で「2. 幼稚園の預かり保育」に○がついた方にうかがいます。それ以外の方は問 14-1 へ。

預かり保育とは、幼稚園で、園児の保護者の希望により、子どもを夕方までや長期休暇中に保育する事業で、園によっては、「〇〇クラス」、「〇〇教室」、「〇〇ルーム」などと呼ばれています。

独自 問 14 「幼稚園の預かり保育」を利用している主な理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○を記入）

- | | |
|-------------------------|-------------------------|
| 1. 就労しているため | 2. 学生であるため |
| 3. 介護等をしているため | 4. 病気であるため |
| 5. 自分の時間をつくりたい | 6. 親族や知人に負担をかけたくない |
| 7. 保育所（園）に入りたいが、空きがないため | 8. 保育所（園）ではなく、幼稚園に通わせたい |
| 9. 保育所（園）よりも利用料が安くなる | 10. 送迎バスがある |
| 11. その他（ ） | |

必須 問 14-1 お子さんについて、夏休み・冬休みなど長期休暇中の預かり保育の利用を希望しますか。（1つに○）
希望がある場合は、利用したい時間帯をお書きください。（数字を記入）
なお、事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

- | | |
|-----------------------|----------------------------------|
| 1. 休みの期間中、週4日以上利用したい | } ⇒ 利用したい時間帯
_____時から_____時まで |
| 2. 休みの期間中、週3日以内で利用したい | |
| 3. 利用する必要はない | |

病気の際の対応

必須 問 15 この1年間に、お子さんの病気やケガによって、通常どおりに施設が利用できなかったことはありますか。（どちらかに○を記入）

- | | |
|--------|---------|
| 1. あった | 2. なかった |
|--------|---------|

☆ 問 15 で「1. あった」に○がついた方にうかがいます。

必須 問 15-1 その際には、どのように対処しましたか。当てはまるものすべてに○をつけ、それぞれの日数もお書きください。（半日程度の場合も1日とカウント）

1年間の対処方法	年間の日数
1. 父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	_____日
2. 父親が仕事を休んだ	_____日
3. 母親が仕事を休んだ	_____日
4. （同居者を含む）親族に子どもをみてもらった	_____日
5. 知人に子どもをみてもらった	_____日
6. 病児・病後児の保育を利用した	_____日
7. ベビーシッターを利用した	_____日
8. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	_____日
9. その他（ ）	_____日

☆ 問 15-1 で「2.」「3.」の「仕事を休んだ」に○がついた方にうかがいます。

必須

問 15-2 この1年間で仕事を休んだ際、「病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。利用したい場合は日数をお書きください。（どちらかに○、数字を記入）
なお、事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

- | |
|--|
| 1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい ⇒ 利用したい日数 ____日 |
| 2. 利用したいとは思わない |

☆ ここから問 17 までは、幼稚園・保育所（園）などの施設を現在利用している、利用していないにかかわらず、あなたの利用の希望についておたずねします。

☆ すべての方にうかがいます。

必須

問 16 「幼児教育・保育の無償化（※）」が 2019 年 10 月から予定されていますが、まずは、無償化を
考えずに、お子さんの平日の「定期的に」利用したいと考える施設等をお答えください。
(あてはまるものすべてに○を記入)

- | | |
|--|---|
| 1. 幼稚園
(市立幼稚園又は兵庫県などの認可を受けた幼稚園
通常の就園時間の利用・預かり保育なし) | 2. 幼稚園の預かり保育
(週 4 日以上の上定期的な利用のみ・たまに利用する場合は除く) |
| 3. 保育所（園）
(兵庫県や岡崎市などの認可を受けた認可保育所・定員 20 人以上) | 4. 認定こども園
(保育所(園)・幼稚園のうちで、兵庫県や岡崎市などの認定を受けた施設) |
| 5. 事業所内保育施設
(企業や病院が主に従業員の子どもの保育のために運営する施設) | 6. 居宅訪問型保育（ベビーシッター）
(保育者が子どもの家庭で保育する事業) |
| 7. その他の認可外の保育施設
(一般に「無認可保育所」などと呼ばれています) | 8. 小規模な保育施設
(規模が小さい(定員 6~19 名) 岡崎市の認可を受けた施設) |
| 9. 家庭的保育
(保育者の家庭等で 5 人以下の子どもを保育する事業) | 10. ファミリーサポートセンター
(週 4 日以上の上定期的な利用のみ・たまに利用する場合は除く) |
| 11. 児童発達支援センター
(あこや学園やたじかの園など) | 12. その他 () |

※「幼児教育・保育の無償化」とは…

政府は、2019 年 10 月より、3 歳から 5 歳までのすべての子どもの幼稚園、保育所、認定こども園などの保育料を無償化し、0 歳から 2 歳までの子どもについても住民税非課税世帯を対象として無償化を実施することとしています。

また、幼稚園の預かり保育や認可外保育施設等についても、保育の必要性の認定を受けた子どもを対象に一定の限度額まで無償化を実施することとしています。



問 16-1 「幼児教育・保育の無償化」が2019年10月から予定されていますが、無償化された場合に、お子さんの平日の「定期的に」利用したいと考える施設等をお答えください。
(あてはまるものすべてに○を記入)

1. 幼稚園 (市立幼稚園又は兵庫県などの認可を受けた幼稚園 通常の就園時間の利用・預かり保育なし)	2. 幼稚園の預かり保育 (週4日以上 of 定期的な利用のみ・たまに利用する場合は除く)
3. 保育所(園) (兵庫県や尼崎市などの認可を受けた認可保育所・定員20人以上)	4. 認定こども園 (保育所(園)・幼稚園のうちで、兵庫県や尼崎市などの認定を受けた施設)
5. 事業所内保育施設 (企業や病院が主に従業員の子どもの保育のために運営する施設)	6. 居宅訪問型保育(ベビーシッター) (保育者が子どもの家庭で保育する事業)
7. その他の認可外の保育施設 (一般に「無認可保育所」などと呼ばれています)	8. 小規模な保育施設 (規模が小さい(定員6~19名) 尼崎市の認可を受けた施設)
9. 家庭的保育 (保育者の家庭等で5人以下の子どもを保育する事業)	10. ファミリーサポートセンター (週4日以上 of 定期的な利用のみ・たまに利用する場合は除く)
11. 児童発達支援センター (あこや学園やたじかの園など)	12. その他 ()

問 16-2 今後利用したい施設等の場所をお答えください。
(1つに○、市町名または駅名【例：JR 尼崎、阪急塚口など】を記入)

1. 尼崎市内 (_____ 町または _____ 駅)	2. 尼崎市外 (_____ 市)
3. どちらでもよい	

問 16-3 お子さんが利用する施設を選ぶときに、どのようなことを重視しますか。(3つまで○を記入)

1. 家から近い	2. 職場に近い
3. 最寄駅に近い	4. 職場への通勤に便利
5. 保育時間	6. 費用が安い
7. 親族の勧め	8. 友人・知人の勧め
9. 送迎バスがある	10. 公立であること
11. 私立であること	12. 地域で評判が良い
13. 給食がある	14. 大規模で施設の設備が充実している
15. しつけがしっかりしている	16. 教育・保育の方針や内容が充実している
17. 病気や障害に対する理解がある	18. その他 ()

☆ 問 16 または問 16-1 で「1. 幼稚園」または「2. 幼稚園の預かり保育」に○がつき、かつ「3～12」に○がついた方にうかがいます。

必須

問 16-4 特に幼稚園（幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合を含む）の利用を強く希望しますか。
（1つに○を記入）

1. はい

2. いいえ

☆ すべての方にうかがいます。

独自

問 16-5 お子さんの1ヶ月あたりの教育や教材（絵本・玩具含む）習い事等にかかる費用はいくらですか。
（1つに○を記入）

1. 1,000 円未満

2. 1,000 円以上 5,000 円未満

3. 5,000 円以上 10,000 円未満

4. 10,000 円以上 15,000 円未満

5. 15,000 円以上 20,000 円未満

6. 20,000 円以上 25,000 円未満

7. 25,000 円以上 30,000 円未満

8. 30,000 円以上

独自

問 16-6 お子さんの教育・保育等にもっと費用をかけたいと思われませんか。（1つに○を記入）

1. そう思う

2. ややそう思う

3. あまりそう思わない

4. 全くそう思わない

土曜・日曜日の利用希望

必須

問 17 お子さんについて、土曜と日曜・祝日に、施設等の定期的な利用希望はありますか。（一時的な利用は除く） また、太枠内に○をつけた方は、利用したい時間帯をお書きください。
（あてはまるものすべてに○、数字を記入）

	土曜	日曜・祝日
利用する必要はない		
ほぼ毎週利用したい		
月に1～2回は利用したい		



利用したい時間帯	___時から ___時まで	___時から ___時まで
----------	------------------	------------------

子育て支援事業の利用状況について

必須

問 18 現在、お子さんと一緒に、「尼崎市立すこやかプラザの子育て支援ゾーン」または「つどいの広場」（親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場）を利用していますか。
（あてはまるものすべてに○、数字を記入）

- | | |
|---|---|
| 1. 「尼崎市立すこやかプラザの子育て支援ゾーン」または「つどいの広場」を利用している
1ヶ月当たり ____回程度 | 週当たりで利用している方は、
その利用回数を4倍して考えて
ください。 |
| 2. 「1.」に類似する子育て支援事業を利用している
（具体名： _____）
1ヶ月当たり ____回程度 | |
| 3. 利用していない | |

⇒問 19 へ

☆ 問 18 で「3. 利用していない」に○がついた方にうかがいます。

独自

問 18-1 利用していない理由として、最も考えに近いものをお答えください。（1つに○を記入）

- | | |
|-------------------------|--------------------------|
| 1. 普段は通っている施設があるので必要がない | 2. 自宅から遠いから |
| 3. そういった場所があることを知らなかった | 4. 仲間に入れるかどうか不安だから |
| 5. 気持ちの余裕がないため | 6. 経済的な理由のため |
| 7. 自宅や近所の遊び場で十分だから | 8. 病気や障害のある子どもへの対応が不安だから |
| 9. 特に理由はない | |
| 10. その他（ _____ ） | |

☆ すべての方にうかがいます。

必須

問 19 問 18 のような施設について、今は利用していないができれば利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いませんか。（あてはまるものすべてに○、数字を記入）
なお、これらの事業の利用には、利用者負担が発生する場合があります。

- | | |
|---|-------------------|
| 1. 利用していないが、今後利用したい
1ヶ月当たり ____回程度 | 週当たりを4倍して考えてください。 |
| 2. すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい
1ヶ月当たり 更に ____回程度 | |
| 3. 今のままでよい | |

不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について

必須

問 20 お子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期で利用している事業はありますか。また、今後の利用意向についてもご記入ください。
(あてはまるものすべてに○、数字を記入)

利用している事業	年間利用日数	今後の利用意向
1. 保育所（園）の一時預かり	___日	ある ない
2. つどいの広場やすこやかプラザの一時預かり	___日	ある ない
3. 幼稚園の預かり保育（毎日でなく、必要な時にだけ利用する場合のみ）	___日	ある ない
4. 上記以外の施設で実施されている一時的な預かり	___日	ある ない
5. ファミリーサポートセンター事業	___日	ある ない
6. 夜間養護等事業：トワイライトステイ （児童養護施設等で休日・夜間、子どもを保護する事業）	___日	ある ない
7. ベビーシッター	___日	ある ない
8. その他（ ）	___日	ある ない
9. 利用していない		

☆ 問 20 で「9. 利用していない」に○がついた方にうかがいます。

任意

問 20-1 利用していない理由として、最も考えに近いものをお答えください。（1つに○を記入）

- | | |
|------------------------|--------------------------|
| 1. 必要がないから | 2. 自宅から遠いから |
| 3. そういった場所があることを知らなかった | 4. 祖父母等の親族にみてもらえるから |
| 5. 仲のよい友人や知人にみてもらえるから | 6. 近所の人に見てもらえるから |
| 7. 経済的な理由のため | 8. 病気や障害のある子どもへの対応が不安だから |
| 9. その他（ ） | |

☆ すべての方にうかがいます。

必須

問 21 お子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、定期的な利用以外に、問 20 の選択肢 1～8 の一時預かり等の事業を年間何日くらい利用する必要があると思いますか。
(あてはまる番号・記号すべてに○、数字を記入)

1. 利用する必要がある	日 数
ア. 私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的	___日
イ. 冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等	___日
ウ. 不定期の就労	___日
エ. その他（ ）	___日
2. 利用する必要はない	

必須

問 22 この1年間に、保護者の用事（仕事、冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、保護者が泊りがけで出かけなければならないことがありましたか。
（あてはまる番号・記号すべてに○、数字を記入）

1年間の対処方法		日 数
1. あった	ア.（同居人を含む）親族・知人にみてもらった	___泊
	イ. 子育て家庭ショートステイを利用した （児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業）	___泊
	ウ. イ以外の保育事業（認可外保育施設、ベビーシッター等）を利用した	___泊
	エ. 子どもを同行させた	___泊
	オ. 子どもだけで留守番をさせた	___泊
	カ. その他（ ）	___泊
2. なかった		

☆ お子さんが5歳以上の方にうかがいます。それ以外の方は問 26 へ。

小学校就学後の放課後の過ごし方について

必須

問 23 お子さんが小学校低学年（1～3年生）のうち、放課後をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。また、「児童ホーム」の場合には、利用希望の時間をお書きください。（あてはまるものすべてに○、数字を記入）なお、事業の利用には、一定の利用者負担が発生する場合があります。

1. 自宅	週 ___ 日くらい	数字を記入 ①下校時から ___ 時まで ※現在の閉所時間（18 時）に関係なく、利用を希望する時間についてお書きください。
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週 ___ 日くらい	
3. 習い事（学習塾）	週 ___ 日くらい	
4. 習い事（ピアノ教室、サッカークラブなど）	週 ___ 日くらい	
5. こどもクラブ	週 ___ 日くらい	
6. 児童ホーム	週 ___ 日くらい	
7. ファミリーサポートセンター	週 ___ 日くらい	
8. 障害児福祉サービス	週 ___ 日くらい	
9. 公民館、総合センターなど	週 ___ 日くらい	
10. 公園、ひろばなど	週 ___ 日くらい	

必須

問 24 お子さんが小学校高学年（4～6年生）になったら、放課後をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。また、「児童ホーム」の場合には利用希望の時間と4～6年生のいつまで利用したいかをお書きください。（あてはまるものすべてに○、数字を記入）
なお、事業の利用には、一定の利用者負担が発生する場合があります。

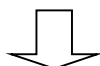
1. 自宅	週 ___ 日くらい	数字を記入 ①下校時から ___ 時まで ※現在の閉所時間（18 時）に関係なく、利用を希望する時間についてお書きください。 ②小学 ___ 年生まで利用したい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週 ___ 日くらい	
3. 習い事（学習塾）	週 ___ 日くらい	
4. 習い事（ピアノ教室、サッカークラブなど）	週 ___ 日くらい	
5. こどもクラブ	週 ___ 日くらい	
6. 児童ホーム	週 ___ 日くらい	
7. ファミリーサポートセンター	週 ___ 日くらい	
8. 障害児福祉サービス	週 ___ 日くらい	
9. 公民館、総合センターなど	週 ___ 日くらい	
10. 公園、ひろばなど	週 ___ 日くらい	

任意

問 25 お子さんについて、土曜日、あるいはお子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の児童ホームの利用希望はありますか。(あてはまるものすべてに○を記入) また、太枠内に○をつけた方は、利用したい時間帯をお書きください。(数字を記入)

	土曜日	長期休暇中
利用する必要はない		
低学年（1～3年生）の間は利用したい		
4年生までは利用したい		
5年生までは利用したい		
6年生まで利用したい		

なお、利用には、利用者負担が発生する場合があります。



利用したい時間帯	_____時から	_____時から
	_____時まで	_____時まで

☆ すべての方にうかがいます。

母親の妊娠・出産等について

※ご記入いただいている方がお子さんの父親の場合、記入が難しいければ問 28 にお進みください

独自

問 26 妊娠中、あるいは出産後おおむね1年程度の間に、お子さんの母親がいらいらしたりストレスを抱え誰かに助けてほしいと思ったりしたことはありましたか。(1つに○を記入)

- | | | |
|----------|----------|-------------|
| 1. よくあった | 2. 時々あった | 3. ほとんどなかった |
| 4. なかった | 5. わからない | |

独自

問 27 妊娠中や出産後のサポートとして、特にどのようなサービスが必要だと思いますか。(あてはまるものすべてに○を記入)

- | | |
|-----------------------|--------------------|
| 1. 母親の健康面での相談 | 2. 赤ちゃんの育児相談 |
| 3. 子どもの病気や障害についての相談 | 4. 赤ちゃんの沐浴など育児補助 |
| 5. 助産師・保健師等の家庭訪問による指導 | 6. 兄弟姉妹をみてくれるサポート |
| 7. 買い物・食事の支度などの家事支援 | 8. 子育て中の人との交流 |
| 9. 子育て経験者から話を聞ける場の提供 | 10. 子育て支援に関する情報の提供 |
| 11. 地域社会での子育て支援 | 12. 父親への子育てに関する教育 |
| 13. 特にない | 14. その他 () |
| 15. わからない | |

子育ての不安と悩みについて

問 28 子育てに関して、日頃悩んでいること、または、気になることはどのようなことですか。
(あてはまるものすべてに○を記入)

- | | |
|-------------------------|----------------------------------|
| 1. 子どもの発達・発育に関すること | 2. 子どもの病気や障害に関すること |
| 3. 子どもの教育に関すること | 4. 子育てやしつけがうまくできていないという不安がある |
| 5. 子どもの登所・登園拒否などの問題 | 6. 子どもの友だちづきあい（いじめ等を含む）に関すること |
| 7. 子育てに協力してくれる人がいない | 8. 配偶者（パートナー）と子育てについての意見や方針が違う |
| 9. 子育てに関して話し相手、相談相手がいない | 10. 配偶者（パートナー）以外の家族、周囲の干渉がわずらわしい |
| 11. 自分の自由な時間が持てない | 12. 子どもと過ごす時間が十分とれない |
| 13. 住居が狭いこと | 14. 子育てにかかる出費がかさむ |
| 15. 自分は子育てに向いていないと思う | 16. 子どものことをかわいいと思えないことがある |
| 17. 子育てによる身体の疲れが大きい | 18. 子育てによる精神の疲れが大きい |
| 19. 子育てに孤独感を感じる | 20. 子育てを支援する施設が十分でない |
| 21. 子どもの安全に関すること | 22. その他（ ） |
| 23. 特になし | |

問 28-1 子育てに関する悩みや不安がある場合、誰に相談していますか。
(あてはまるものすべてに○を記入)

- | | |
|-------------------------------|-------------------------|
| 1. 配偶者（パートナー） | 2. 親族（親・兄弟姉妹など） |
| 3. 友人 | 4. 近所の人 |
| 5. 職場の人 | 6. 保育所（園）・幼稚園等の先生 |
| 7. 保健所・保健センターの保健師 | 8. 市の家庭児童相談窓口 |
| 9. 市の教育相談窓口 | 10. すこやかプラザ・つどいの広場のスタッフ |
| 11. 地域で子育て支援活動を行うグループ・団体のスタッフ | 12. インターネットの相談ページ |
| 13. その他（ ） | |
| 14. 相談相手がいない | 15. 相談したいと思わない |

問 28-2 子育てに関する悩みや不安がある場合、どのような支援を受けたいと思いますか。
(あてはまるものすべてに○を記入)

- | | |
|-----------------------------|--------------------------|
| 1. とく名の電話相談 | 2. 専門員による訪問相談 |
| 3. 24 時間対応の相談窓口（SNS 等） | 4. 5 歳児健診 |
| 5. 家事の支援（手伝い・代行など） | 6. 金銭的な支援（生活用品・給付型奨学金など） |
| 7. 学習支援の場や体験学習（バスツアー・キャンプ等） | 8. 専門家による研修やセミナー等 |
| 9. その他（ ） | |

☆ 問 28 で「1. 子どもの発達・発育に関すること」に○がついた方にうかがいます。

独自 問 28-3 お子さんの発達・発育で気になったきっかけについてお答えください。
(あてはまるものすべてに○を記入)

- | | |
|----------------|---------------------|
| 1. 他の子どもの発達を見て | 2. 通っている施設等の職員 |
| 3. 親族や友人・知人 | 4. 1歳半、3歳児健診等の乳幼児健診 |
| 5. 病院での受診 | 6. その他 () |

独自 問 28-4 その時、どのように感じましたか。(1つに○を記入)

- | | |
|---------------------------|-------------------|
| 1. しばらく様子を見ようと思った | 2. どうしてよいかわからなかった |
| 3. かかりつけ医や専門の病院を受診しようと思った | |
| 4. その他 () | |

☆ すべての方にうかがいます。

独自 問 28-5 あなたは、この1年間にお子さんに対して、次のようなことがどのくらいありましたか。
(それぞれの項目1つに○を記入)

	何度もあった	1～2回程度 あった	まったくなかった
1. 人前でつくしかることがある	1	2	3
2. 叩くことがある	1	2	3
3. 食事を与えないときがある	1	2	3
4. 無視をすることがある	1	2	3
5. 産まなければよかったなど、ネガティブな言葉でひなんしたことがある	1	2	3
6. 閉じ込めたり、家の中に入れなかったことがある	1	2	3
7. 病気やケガの際、病院に連れて行かなかったことがある	1	2	3
8. 言葉による脅かしやきょうはくをしたことがある	1	2	3
9. 子どもにわいせつなものを見せたことがある	1	2	3
10. 子どもの前でけんかすることがある	1	2	3
11. 子どもだけで留守番させることがある	1	2	3
12. その他 ()	1	2	3

子育てに関する情報・サービス・支援体制について

独自 問 29 あなたは、子育てに関する情報について、十分、届いていると思いますか。（1つに○を記入）

- | | |
|-------------------|-------------------|
| 1. 十分だと思う | 2. どちらかといえば十分だと思う |
| 3. どちらかといえば不足している | 4. 不足している |

☆ 問 29 で「3.」または「4.」の「不足している」に○がついた方にうかがいます。

独自 問 29-1 どのような情報が不足していると思われますか。（あてはまるものすべてに○を記入）

- | | |
|-----------------------------------|--------------------------|
| 1. 子どもの育て方全般について（トイレ・片付け・食事・起床など） | |
| 2. 地域で子育て支援活動を行うグループ・団体の事業内容について | |
| 3. 市が行う子育て支援の事業内容について | 4. 子どもに障害がある場合の支援について |
| 5. 病気の予防や発育について | 6. 子どもの食事や栄養について |
| 7. 各保育所（園）の保育サービスについて | 8. 各幼稚園の教育内容について |
| 9. 校区の小学校の教育内容について | 10. 子どもを預けられる施設やサービスについて |
| 11. 親同士が知り合える場について | 12. 子どもの遊び場について |
| 13. 子育ての悩みや不安の相談窓口について | 14. 不審者や犯罪など地域の安全について |
| 15. 虐待(DV 含む)防止に関する情報 | 16. その他（ ） |

☆ すべての方にうかがいます。

独自 問 30 尼崎市からの情報をどこから、または誰から入手したいですか。（あてはまるものすべてに○を記入）

- | | |
|----------------------------|-------------------|
| 1. 市報あまがさき | 2. 市ホームページ（パソコン版） |
| 3. 市ホームページ（携帯電話版） | 4. あまっこねっと |
| 5. 子育て支援などの情報誌 | 6. 公共施設の掲示板 |
| 7. つどいの広場などの親子が集まる場にいるスタッフ | 8. 保育所（園）・幼稚園の先生 |
| 9. 家族・知人 | 10. その他（ ） |
| 11. 特にない | |

問 31 下記の子育て支援に関わるサービスを知っていますか。また、これまでに利用したことや、今後利用したいかについてはどうですか。(項目ごとに、《認知度・利用状況・今後の利用意向》のそれぞれについて、あてはまる答えのいずれかに○を記入)

なお、事業の利用には、一定の利用者負担が発生する場合があります。

	《認知度・利用状況・今後の利用意向》			
	知っていますか	これまでに利用したことがありますか	今後利用したいですか	
1. 妊婦健康診査費用の一部助成	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ	どちらともいえない
2. こんにちは赤ちゃん事業	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ	どちらともいえない
3. 子育てサークル	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ	どちらともいえない
4. 子育てサークル以外の親子遊びなどの地域子育て支援活動	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ	どちらともいえない
5. 公立保育所の子育て相談・園庭開放など	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ	どちらともいえない
6. 私立保育園の子育て相談・園庭開放など	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ	どちらともいえない
7. 公立幼稚園の子育て相談・園庭開放など	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ	どちらともいえない
8. 私立幼稚園の子育て相談・園庭開放など	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ	どちらともいえない
9. 私立幼稚園で実施している0・1・2歳児の子育て応援事業	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ	どちらともいえない
10. 病児・病後児保育	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ	どちらともいえない
11. あまっこねっと	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ	どちらともいえない
12. 家庭児童相談	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ	どちらともいえない
13. 育児支援専門員派遣事業	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ	どちらともいえない
14. 障害児福祉サービス	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ	どちらともいえない
15. 利用者支援事業	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ	どちらともいえない
16. 子ども食堂	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ	どちらともいえない
17. 子どもの育ち支援センター	はい いいえ	—	はい いいえ	どちらともいえない
18. ユース交流センター	はい いいえ	—	はい いいえ	どちらともいえない
19. その他 ()	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ	どちらともいえない

独自

問 32 尼崎市の子ども・子育てに関する施策で、さらに充実させてほしいものをお選びください。
(5つまで○を記入)

- | | |
|---|---------------------------|
| 1. 子育てについて気軽に相談できる窓口 | 2. 保育所(園)・児童ホームの待機児童対策 |
| 3. 保育所(園) 保育時間の延長や休日保育 | 4. 一時的に子どもを預けられる保育サービスの充実 |
| 5. 子育て支援に関する情報提供の充実 | 6. 健診や新生児訪問などの母子保健事業 |
| 7. 発達・発育に関する取組 | 8. 病気や障害のある子どもとその家庭への支援 |
| 9. 児童虐待の防止のための取組 | 10. 多世代、異年齢との交流の場づくり |
| 11. 子育てに関する講座の実施 | 12. 公園などの子どもの遊び場の整備 |
| 13. つどいの広場など親子で気軽に集える場の充実 | |
| 14. 在宅子育て家庭を対象とした保育所(園)や幼稚園での子育て支援 | |
| 15. 子育てサークルや青少年育成団体など住民主体による地域活動の活性化 | |
| 16. 子育て支援に関する情報の集約・提供や地域活動の活性化を行うセンターの設置 | |
| 17. 男女共同参画意識やワーク・ライフ・バランスの考え方を企業等に普及・啓発する | |
| 18. 特にない | |
| 19. その他 () | |

その他

独自

問 33 子育てしながら働き続けるために、必要と考えることはどのようなことですか。
(2つまで○を記入)

- | | |
|---------------------|----------------------|
| 1. 保育サービスの受け入れ枠の拡大 | 2. 保育サービスの保育時間の拡大 |
| 3. 子育ての相談などのサービスの充実 | 4. 育児休暇制度などの職場の制度 |
| 5. 職場の理解と協力体制 | 6. 配偶者(パートナー)の理解・関わり |
| 7. わからない | 8. その他 () |

任意

問 34 最後に、教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にお書きください。

ご記入がすみましたら同封の封筒に入れて、切手は貼らずにポストに投函してください。

ご協力ありがとうございました。

尼崎市 子ども・子育て支援に係るニーズ調査票＜小学生＞（案）

※ この調査票において「お子さん」とは、この調査票を送付した際の封筒の「宛名のお子さん」のことを指します。

就学前
必須

問1 この調査票をご記入いただく方（あなた）は、お子さんからみて、どなたですか。（1つに○を記入）

1. 父親 2. 母親 3. その他（ ）

就学前
必須

問2 あなたの配偶者（パートナー）について、お答えください。（どちらかに○を記入）

1. 配偶者（パートナー）がいる 2. 配偶者（パートナー）がいない

お子さんご家族の状況について

就学前
必須

問3 お子さんの生年月月をお書きください。（数字を記入）

平成 _____ 年 _____ 月生まれ

就学前
任意

問4 お子さんを含めたきょうだいの人数をお書きください。（数字を記入）

きょうだい数 _____ 人きょうだい

就学前
必須

問5 お子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのは、そのお子さんからみて、どなたですか。（1つに○を記入）

1. 父母ともに 2. 主に母親 3. 主に父親
具体的に 例）知人、近所の人、上記以外の親戚など
 4. 主に祖父母 5. その他（ ）

お住まいの地域などについて

就学前
必須

問6 お住まいの住所をお書きください。

町 丁目 番 【記入例：東七松町1丁目23番】

独自

問7 尼崎市にお住まいになって、通算して何年になりますか。（1つに○を記入）

1. 1年未満 2. 1年以上3年未満 3. 3年以上5年未満
 4. 5年以上10年未満 5. 10年以上15年未満 6. 15年以上20年未満
 7. 20年以上

就学前
任意

問 8 緊急時や用事の際に、お子さんをみてくれる人はいますか。(あてはまるものすべてに○を記入)

- | | |
|-------------------|---------------------|
| 1. 祖父母等の親族にみてもらえる | 2. 仲のよい友人や知人にみてもらえる |
| 3. 近所の人にみて | 4. いずれもない |

お子さんの保護者の就労状況について

☆ 問 9～問 10 は、ひとり親家庭の場合は、該当する部分のみ記入してください。

就学前
必須

問 9 宛名のお子さんの母親・父親の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）について、お答えください。(あてはまるものに○を記入)

	母親	父親
フルタイム※で就労中		
フルタイム就労だが、産休・育休・介護休業中		
フルタイム以外で就労中		
フルタイム以外の就労だが、産休・育休・介護休業中		
以前は就労していたが、現在は就労していない		
これまで就労したことがない		

太枠内にひとつでも○がついた場合には、その方のご事情について、問 9-1 へ。それ以外の方は問 10 へ。

※ フルタイムは、1 週 5 日程度、1 日 8 時間程度の就労を指します。
正規・非正規（派遣・アルバイト等）にかかわらず、時間で判断をしてください。

就学前
必須

問 9-1 就労されている場合、通常時の就労日数や土曜・日曜の就労の有無、就労時間、家を出る時刻について、お答えください。(あてはまるものに○、数字を記入)

	1 週当たりの 就労日数	土曜・日曜の 就労の有無	一日当たり の就労時間	家を出る時刻
記入例	5 日	①. 土曜 2. 日曜	8 時間	7 時 4 5 分
母親	__ 日	1. 土曜 2. 日曜	__ 時間	__ 時 __ 分
父親	__ 日	1. 土曜 2. 日曜	__ 時間	__ 時 __ 分

就学前
必須

問 9-2 フルタイム以外で就労されている場合（問 9 で太枠内の斜線の欄内に○がついた方）は、フルタイムへの転換希望等について、お答えください。(あてはまるものに○を記入)

	母親	父親
フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みあり		
フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みなし		
フルタイム以外での就労を続けることを希望		
就労をやめて、子育てや家事に専念したい		

☆ 問9で「以前は就労していたが、現在は就労していない」「これまで就労したことがない」に○がついた方（太枠内に○がつかなかった方）にうかがいます。それ以外の方は問11へ。

就学前
必須

問10 就労についての希望をお答えください。（あてはまるものに○を記入）

	母親	父親
就労の予定はない（子育て、家事、病気、障害があるなどの理由で）		
すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい		
1年より先、就労したい		
（就労開始時期はお子さんが何歳になる頃ですか。）	歳	歳

太枠内にひとつでも○がついた場合には、その方について、問10-1へ。

就学前
必須

問10-1 問10で太枠内に○がついた場合に、希望する就労日数や土曜・日曜の就労希望の有無、就労時間をお答えください。（あてはまるものに○、数字を記入）

	1週当たりの就労日数	土曜・日曜の就労希望の有無	一日当たりの就労時間
記入例	5日	①. 土曜 2. 日曜	8時間
母親	___日	1. 土曜 2. 日曜	___時間
父親	___日	1. 土曜 2. 日曜	___時間

放課後の過ごし方について

独自

問11 お子さんを放課後どのような場所で過ごさせていますか。また、どのような場所で過ごさせたいと思いますか。（あてはまるものすべてに○、数字を記入）

	現 状	希 望
1. 自宅	週___日くらい	週___日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週___日くらい	週___日くらい
3. 習い事（学習塾）	週___日くらい	週___日くらい
4. 習い事（ピアノ教室、サッカークラブなど）	週___日くらい	週___日くらい
5. こどもクラブ	週___日くらい	週___日くらい
6. 児童ホーム （うち、土曜日の利用の有無）	週___日くらい （ 有 ・ 無 ）	週___日くらい
7. ファミリーサポートセンター	週___日くらい	週___日くらい
8. 障害児福祉サービス	週___日くらい	週___日くらい
9. 公民館、総合センターなど	週___日くらい	週___日くらい
10. 公園、ひろばなど	週___日くらい	週___日くらい

独自 問 12 「こどもクラブ」及び「児童ホーム」の利用について、次の①②にお答えください。

	こどもクラブ（放課後子ども教室）	児童ホーム（放課後児童クラブ）
内容	子どもにとって安心して遊べる場と、異年齢が交流する場を提供することを目的に、平日の放課後や土曜日・長期休業日において子どもが自主的に参加する活動のこと。	保護者が昼間、労働等による不在のため、家庭において保護を受けることができない児童に安全な場所を提供し、子どもたちの育ちを支援する活動のこと。
① 利用している理由 (あてはまるものすべてに○)	1. いろいろな体験活動ができる 2. 子どもが学校敷地内の室内や校庭などで安心して遊べるから 3. 兄弟姉妹や友達が一緒に参加するから 4. 近所に遊び場が少ないから 5. 落ち着いて勉強（宿題）ができるから 6. 仕事などで放課後に保護者がいないから 7. 児童ホームに空きがないから 8. その他（ ）	お子さんの身の回りの世話を主にしている方が 1. 現在就労している 2. 就労予定がある／求職中である 3. 家族・親族などを介護しなければならない 4. 病気や障害がある 5. 学生である 6. その他（ ）
② 利用していない理由 (あてはまるものすべてに○)	1. 子どもは放課後に習い事等をしているから 2. 放課後は自宅や友だちと過ごしているから 3. 学齢が高くなり、利用しなくなったから 4. 児童ホームに行っているから 5. 使い勝手が悪いから 6. 弁当が持参できないから 7. 特にない・わからない 8. その他（ ）	1. 働いているが、子どもだけでも大丈夫と思うから 2. 働いていないから 3. 祖父母等見てくれる人がいるから 4. 児童ホームに空きがないから 5. 子どもは放課後に習い事等をしているから 6. 子どもに病気や障害があるから 7. 使い勝手が悪い 8. 特にない・わからない 9. その他（ ）

☆ すべての方にうかがいます。

就学前
必須 問 13 お子さんについて、平日や土曜日、あるいはお子さんの夏休み・冬休みなどの長期休暇期間中の児童ホームの利用希望はありますか。(あてはまるものすべてに○) また、太枠内に○をつけた方は、①利用したい時間帯と②閉まる時間（現在平日 18 時）の延長を希望する場合、その希望時間をお書きください。(数字を記入) なお、事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

	平日	土曜日	長期休暇中
利用する必要はない			
低学年（1～3年生）の間は利用したい			
4年生の終わりまで利用したい			
5年生の終わりまで利用したい			
6年生の終わりまで利用したい			

① 利用したい時間帯	____時から ____時まで	____時から ____時まで	____時から ____時まで
② 希望する閉まる時間（現在 18 時）	____時	____時	____時

☆ 問13の②で「希望する閉まる時間（現在18時）」を記入した方にうかがいます。

独自

問 14 児童ホームの閉まる時間（18 時）以降にファミリーサポートセンターを活用したいですか。
（1つに○を記入） なお、事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

1. はい 2. いいえ 3. どちらともいえない

病気の際の対応について

就學前
必須

問 15 この1年間に、お子さんの病気やケガによって、通常どおりに学校へ行けなかったことはありますか。(どちらかに○を記入)

1. あった 2. なかった

☆ 問15で「1. あった」に○がついた方にうかがいます。

就學前
必須

問 15-1 その際には、どのように対処しましたか。あてはまるものすべてに○をつけ、それぞれの日数もお書きください。(半日程度の場合も1日とカウント)

1年間の対処方法	年間の日数
1. 父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	_____日
2. 父親が仕事を休んだ	_____日
3. 母親が仕事を休んだ	_____日
4. (同居者を含む) 親族に子どもをみてもらった	_____日
5. 知人に子どもをみてもらった	_____日
6. 病児・病後児の保育を利用した	_____日
7. ベビーシッターを利用した	_____日
8. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	_____日
9. その他 ()	_____日

☆ 問15-1で「2.」「3.」の「仕事を休んだ」に○がついた方にうかがいます。

就學前
必須

問 15-2 この1年間で仕事を休んだ際、「病児・病後児のための保育施設等が利用したい」と思われまし
たか。利用したい場合は日数をお書きください。（どちららかに○、数字を記入）
なお、事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい ⇒ **利用したい日数** _____ 日
2. 利用したいとは思わない

お住まいの地域との関わりについて

独自 問 16 お子さんは、ご近所の方々にどのように関わってもらっていますか。
(あてはまるものすべてに○を記入)

- | | |
|---------------------------|--------------------------|
| 1. 挨拶をしてもらっている | 2. 遊びなどを教えてもらっている |
| 3. 遊びに連れていってもらっている | 4. 話し相手になってもらっている |
| 5. 行いをほめたり、注意したりしてもらっている | 6. 困っているときに手助けしてもらっている |
| 7. 急用や緊急時に、子どもを預かってもらっている | 8. 地域で子どもを見守る活動をしてもらっている |
| 9. その他() | 10. 関わりはほとんどない |

独自 問 17 地域で青少年の育成を行う団体などの活動について、今後、どのような取組を期待しますか。
(あてはまるものすべてに○を記入)

- | | |
|-------------------------------------|--------------------------|
| 1. 子どもへの遊びや工作などの体験機会の提供 | 2. キャンプなどの野外活動 |
| 3. 子どもへのスポーツ指導 | 4. 子どもへの音楽やダンスなどの指導 |
| 5. 子どもへの学習指導 | 6. 子どもが気軽に集まることができる場所の提供 |
| 7. 子どもが地域の行事等を受け継ぎ、つなげていくための取組 | |
| 8. 子どもが地域でボランティア活動を行うにあたっての支援 | |
| 9. 子ども同士がスポーツ、音楽などの活動をするに当たっての情報の提供 | |
| 10. その他 () | |

独自 問 18 今後、子育てが落ち着いたら、問 17 のような青少年の育成活動を行うグループ・団体の運営に、
参画したいと思われますか。(1つに○を記入)

- | | | |
|-------|---------|----------|
| 1. 思う | 2. 思わない | 3. わからない |
|-------|---------|----------|

☆ 問 18 で、「2. 思わない」に○をつけた方にうかがいます。

独自 問 19 参画したいと思わない理由をお聞かせください。(あてはまるものすべてに○を記入)

- | | |
|-----------------------|--------------------|
| 1. 仕事が忙しく時間がない | 2. 家事が忙しく時間がない |
| 3. 介護を必要とする者がいる | 4. 人間関係がわずらわしい |
| 5. 身近なところに活動する場所がない | 6. 方法が分からない |
| 7. きっかけがない | 8. 世話役になるのが大変 |
| 9. 興味・関心がない | 10. 趣味など他の活動を優先したい |
| 11. 病気や障害に対する理解があるか不安 | 12. その他 () |
| 13. 特に理由はない | |

子育ての不安と悩みについて

独自 問 20 子育てに関して、日頃悩んでいること、または、気になることはどのようなことですか。
(あてはまるものすべてに○を記入)

- | | |
|-------------------------|----------------------------------|
| 1. 子どもの発達・発育に関すること | 2. 子どもの病気や障害に関すること |
| 3. 子どもの教育に関すること | 4. 子育てやしつけがうまくできていないという不安がある |
| 5. 子どもの登所・登園拒否などの問題 | 6. 子どもの友だちづきあい（いじめ等を含む）に関すること |
| 7. 子育てに協力してくれる人がいない | 8. 配偶者（パートナー）と子育てについての意見や方針が違う |
| 9. 子育てに関して話し相手、相談相手がいない | 10. 配偶者（パートナー）以外の家族、周囲の干渉がわずらわしい |
| 11. 自分の自由な時間が持てない | 12. 子どもと過ごす時間が十分とれない |
| 13. 住居が狭いこと | 14. 子育てにかかる出費がかさむ |
| 15. 自分は子育てに向いていないと思う | 16. 子どものことをかわいいと思えないことがある |
| 17. 子育てによる身体の疲れが大きい | 18. 子育てによる精神の疲れが大きい |
| 19. 子育てに孤独感を感じる | 20. 子育てを支援する施設が十分でない |
| 21. 子どもの安全に関すること | 22. その他（ ） |
| 23. 特になし | |

独自 問 20-1 子育てに関する悩みや不安がある場合、誰に相談していますか。
(あてはまるものすべてに○を記入)

- | | |
|-------------------------------|-------------------------|
| 1. 配偶者（パートナー） | 2. 親族（親・兄弟姉妹など） |
| 3. 友人 | 4. 近所の人 |
| 5. 職場の人 | 6. 小学校の先生 |
| 7. 保健所・保健センターの保健師 | 8. 市の家庭児童相談窓口 |
| 9. 市の教育相談窓口 | 10. すこやかプラザ・つどいの広場のスタッフ |
| 11. 地域で子育て支援活動を行うグループ・団体のスタッフ | 12. インターネットの相談ページ |
| 13. その他（ ） | |
| 14. 相談相手がいない | 15. 相談相手したいと思わない |

独自 問 20-2 子育てに関する悩みや不安がある場合、どのような支援を受けたいと思いますか。
(あてはまるものすべてに○を記入)

- | | |
|--------------------------|-----------------------------|
| 1. とく名の電話相談 | 2. 専門員による訪問相談 |
| 3. 24 時間対応の相談窓口（SNS 等） | 4. 家事の支援（手伝い・代行など） |
| 5. 金銭的な支援（生活用品・給付型奨学金など） | 6. 学習支援の場や体験学習（バスツアー・キャンプ等） |
| 7. 専門家による研修やセミナー等 | 8. その他（ ） |

☆ 問 20 で「1. 子どもの発達・発育に関すること」に○がついた方にうかがいます。

独自 問 20-3 お子さんの発達・発育で気になったきっかけについてお答えください。
(あてはまるものすべてに○を記入)

- | | |
|----------------|----------------|
| 1. 他の子どもの発達を見て | 2. 通っている施設等の職員 |
| 3. 親族や友人・知人 | 4. 学校の健診 |
| 5. 病院での受診 | 6. その他 () |

独自 問 20-4 その時、どのように感じましたか。(1つに○を記入)

- | | |
|---------------------------|-------------------|
| 1. しばらく様子を見ようと思った | 2. どうしてよいかわからなかった |
| 3. かかりつけ医や専門の病院を受診しようと思った | |
| 4. その他 () | |

☆ すべての方にうかがいます。

独自 問 20-5 あなたは、この1年間にお子さんに対して、次のようなことがどのくらいありましたか。
(それぞれの項目1つに○を記入)

	何度もあった	1~2回程度 あった	まったくなかった
1. 人前できつくしかることがある	1	2	3
2. 叩くことがある	1	2	3
3. 食事を与えないときがある	1	2	3
4. 無視をすることがある	1	2	3
5. 産まなければよかったなど、ネガティブな言葉でひなんしたことがある	1	2	3
6. 閉じ込めたり、家の中に入れないことがある	1	2	3
7. 病気やケガの際、病院に連れて行かなかったことがある	1	2	3
8. 言葉による脅かしやきょうはくをしたことがある	1	2	3
9. 子どもにわいせつなものを見せたことがある	1	2	3
10. 子どもの前でけんかすることがある	1	2	3
11. 子どもだけで留守番させることがある	1	2	3
12. その他 ()	1	2	3

子育てに関する情報・サービス・支援体制について

独自 問 21 あなたは、子育てに関する情報について、十分、届いていると思いますか。(1つに○を記入)

- | | |
|-------------------|-------------------|
| 1. 十分だと思う | 2. どちらかといえば十分だと思う |
| 3. どちらかといえば不足している | 4. 不足している |

☆ 問 21 で「3.」または「4.」の「不足している」に○がついた方にうかがいます。

独自 問 21-1 どのような情報が不足していると思われますか。(あてはまるものすべてに○を記入)

- | | |
|--|----------------------|
| 1. 思春期の子どもへの関わり方について | 2. 進学予定の学校の教育内容について |
| 3. 子どもを預けられる施設やサービスについて | 4. 子どもの食事や栄養について |
| 5. 悩みや不安の相談窓口について | 6. 不審者や犯罪など地域の安全について |
| 7. 小学生の遊び場について | 8. 親同士が知り合える場について |
| 9. 市が行う子育て支援や青少年の育成の事業内容について | |
| 10. 地域で子育て支援活動や青少年の育成活動を行うグループ・団体の事業内容について | |
| 11. 子どもに障害がある場合の支援について | |
| 12. その他 () | |

☆ すべての方にうかがいます。

独自 問 22 尼崎市からの情報をどこから、または誰から入手したいですか。
(あてはまるものすべてに○を記入)

- | | |
|----------------------------|--------------------|
| 1. 市報あまがさき | 2. 市ホームページ (パソコン版) |
| 3. 市ホームページ (携帯電話版) | 4. あまっこねっと |
| 5. 子育て支援などの情報誌 | 6. 公共施設の掲示板 |
| 7. つどいの広場などの親子が集まる場にいるスタッフ | 8. 小学校の先生 |
| 9. 家族・知人 | 10. その他 () |
| 11. 特にない | |

問 23 下記の子育て支援に関わるサービスを知っていますか。また、これまでに利用したことや、今後利用したいかについてはどうですか。(項目ごとに、《認知度・利用状況・今後の利用意向》のそれぞれについて、あてはまる答えのいずれかに○を記入)

なお、事業の利用には、一定の利用者負担が発生する場合があります。

	《認知度・利用状況・今後の利用意向》			
	1	2	3	
	知っていますか	これまでに利用したことがありますか	今後利用したいですか	
1. 子ども会	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ	どちらともいえない
2. 子ども会以外の地域の青少年の育成活動	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ	どちらともいえない
3. 母親クラブ	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ	どちらともいえない
4. いきいきあまっ子リーダースクール	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ	どちらともいえない
5. あまっこねっと	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ	どちらともいえない
6. こどもクラブ	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ	どちらともいえない
7. ファミリーサポートセンター	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ	どちらともいえない
8. 病児・病後児保育	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ	どちらともいえない
9. 思春期健康教育	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ	どちらともいえない
10. 青少年の居場所づくり事業	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ	どちらともいえない
11. スクールカウンセリング	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ	どちらともいえない
12. スクールソーシャルワーク	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ	どちらともいえない
13. 家庭児童相談	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ	どちらともいえない
14. 子育て家庭（ショートステイ）事業	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ	どちらともいえない
15. 教育相談	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ	どちらともいえない
16. 障害児福祉サービス	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ	どちらともいえない
17. 利用者支援事業	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ	どちらともいえない
18. 子ども食堂	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ	どちらともいえない
19. 子どもの育ち支援センター	はい いいえ	—	はい いいえ	どちらともいえない
20. ユース交流センター	はい いいえ	—	はい いいえ	どちらともいえない
21. その他（ ）	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ	どちらともいえない

独自

問 24 尼崎市の子ども・子育てに関する施策で、さらに充実させてほしいものをお選びください。
(5つまで○を記入)

- | | |
|---|-------------------------|
| 1. 子育てについて気軽に相談できる窓口 | 2. 児童ホームの待機児童対策 |
| 3. 子育てに関する講座の実施 | 4. 子育て支援に関する情報提供の充実 |
| 5. 思春期健康教育の実施 | 6. 不登校に関する取組 |
| 7. 発達・発育に関する取組 | 8. 病気や障害のある子どもとその家庭への支援 |
| 9. 児童虐待の防止のための取組 | 10. 学力向上に向けた取組 |
| 11. 青少年の健全育成の取組 | |
| 12. 青少年育成団体など住民主体による地域活動の活性化 | |
| 13. 多世代、異年齢との交流の場づくり | |
| 14. 子どもが安心して安全に生活できるための地域での防犯対策 | |
| 15. 子育て支援に関する情報の集約・提供や地域活動の活性化を行うセンターの設置 | |
| 16. 男女共同参画意識やワーク・ライフ・バランスの考え方を企業等に普及・啓発する | |
| 17. 子ども食堂など放課後の居場所を支援する | |
| 18. その他 (|) |
| 19. 特にない | |

その他

独自

問 25 子育てしながら働き続けるために、必要と考えることはどのようなことですか。
(2つまで○を記入)

- | | |
|---------------------|----------------------|
| 1. 児童ホームの受け入れ枠の拡大 | 2. 児童ホームの利用時間の拡大 |
| 3. 子育ての相談などのサービスの充実 | 4. 職場の休暇等の制度 |
| 5. 職場の理解と協力体制 | 6. 配偶者（パートナー）の理解・関わり |
| 7. わからない | 8. その他 (|

就学前
任意

問 26 最後に、子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にお書きください。

ご記入がすみましたら同封の封筒に入れて、切手は貼らずにポストに投函してください。
ご協力ありがとうございました。

次の質問は小学生高学年（４年～６年）の方、ご本人がお答えください。

あなたのふだんの家庭や学校での生活について

問1 あなたは、学校がある日は、だいたい朝何時ごろにおきますか。

【例：午前 7 時 00 分ごろにおきる】

午前 時 分ごろにおきる

問2 あなたは、次の日に学校がある日は、だいたい夜何時ごろにねますか。

【例：午後 7 時 00 分ごろにねる】

午後 時 分ごろになる

問3 あなたは、いつも平日の夜ごはんを、だれといっしょに食べていますか。(1つに○をつける)

1. 家族といっしょに食べる 2. 子どもたちだけで食べる 3. 1人で食べる
4. 家族以外の大人と食べる 5. 食べない

問4 あなたは、学校にいる時間が楽しいですか。(1つに○をつける)

1. 楽しい 2. どちらかといえば楽しい
3. どちらかといえば楽しくない 4. 楽しくない

問5 あなたは、友だちといっしょにいて楽しいですか。(1つに○をつける)

1. 楽しい 2. どちらかといえば楽しい
3. どちらかといえば楽しくない 4. 楽しくない

問6 あなたが平日に、よく遊んだり、でかけるところはどこですか。(1つから3つまで○をつける)

- | | | |
|----------------|---------------|----------------|
| 1. じゅくなどの習いごと | 2. スポーツのチーム活動 | 3. 近くの公園や広場 |
| 4. こどもクラブ | 5. 児童ホーム | 6. 公民館 |
| 7. 図書館 | 8. 友だちの家 | 9. 自分の家 |
| 10. コンビニ、近所のお店 | 11. ゲームセンター | 12. ファーストフード店 |
| 13. その他（ ） | | 14. 特にない・わからない |

あなたの考えについてうかがいます。

問7 あなたには、今なやんでいること、しんぱいなこと、困っていること、だれかにそうだししたいと思
っていることがありますか。(1つから3つまで○をつける)

- | | |
|---------------------|---------------|
| 1. 自分の健康のこと | 2. 見た目や体型のこと |
| 3. 自分の性格やくせのこと | 4. 体力や運動能力のこと |
| 5. 勉強のこと | 6. 将来や進路のこと |
| 7. クラブ活動のこと | 8. 友だちのこと |
| 9. いじめのこと | 10. 学校の先生のこと |
| 11. 家族のこと | 12. その他（ ） |
| 13. なやんだりしんばいなことはない | |

問8 なやみやしんぱいなどがあるとき、話したり、そうだんしたりできる人いますか。
(あてはまるものすべてに○をつける)

- | | |
|------------------|----------------------------|
| 1. お父さん | 2. お母さん |
| 3. きょうだい | 4. おじいさんやおばあさん |
| 5. 友だち | 6. 学校の先生 |
| 7. 保健室の先生 | 8. スクールカウンセラー |
| 9. スクールソーシャルワーカー | 10. じゅくなどの先生 |
| 11. クラブ活動などの先生 | 12. インターネットやいろいろな電話で知り合った人 |
| 13. その他 () | 14. そうだんできる人がいない |
| 15. だれにもそうだんしない | 16. そうだんしなくてもいい |

問9 あなたは、ふだんの生活の中で、次に書かれているようなことについて、どのように感じていますか。
(①～⑨のそれぞれについて、あてはまるもの1つに○をつける)

	そう思う	まあそう思う	あまりそう 思わない	そう思わない
① 自分にはよいところがある	1	2	3	4
② 自分には将来の夢や目標がある	1	2	3	4
③ がんばれば、いいことがある	1	2	3	4
④ 自分は家族に大事にされている	1	2	3	4
⑤ 自分は友達に好かれている	1	2	3	4
⑥ 毎日の生活が楽しい	1	2	3	4
⑦ さびしさや不安を感じることはない	1	2	3	4
⑧ 不安に感じることはない	1	2	3	4
⑨ 自分のことが好きだ	1	2	3	4

答えるのがすんだら、お父さんやお母さんなどの分といっしょにふうとうに入れて、切手ははらずにポストに入れてください。ありがとうございました。

第1回計画策定部会における主な意見等に対する対応

該当箇所	主な意見等	修正前	修正後	修正内容	修正理由																
就学前 問 6 (1 ページ)	いつ時点の年収なのか特定しなくてもいいか。	ご家族全員の世帯年収は次のどれにあたりますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。	ご家族 全員 の世帯年収は次のどれにあたりますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。 <u>なお、年収は育児休業による収入減や臨時的な収入増など、一時的な要因は加味せず、通常時の収入を想定してください。</u>	設問の末尾に補足説明「なお、年収は育児休業による収入減や臨時的な収入増など、一時的な要因は加味せず、通常時の収入を想定してください。」を記載する。	昨年分など時点を特定すると、臨時的な収入増減がある場合に、イレギュラーな数値を把握してしまうことになるため、通常時の年収を把握するのが適当と考えたため。																
就学前 問 7 (2 ページ)	番地まで記入すると個人を特定されるのではないかな。	お住まいの町名について、お書きください。(丁目番地まで) <table><tr><td>町</td><td>丁目</td><td>番</td><td>【記入例】</td></tr></table>	町	丁目	番	【記入例】	お住まいの 町名住所 について、お書きください。 =(丁目番地まで)= <table><tr><td>町</td><td>丁目</td><td>番</td><td>【記入例】</td></tr></table>	町	丁目	番	【記入例】	「町名」→「住所」表記変更する。「(丁目番地まで)」表記削除する。	提供区域の設定の際に、街区(番)までは聞いておく必要があるため。住居表示か地番かの違いを明確にするため。								
町	丁目	番	【記入例】																		
町	丁目	番	【記入例】																		
就学前 問 11 (3 ページ)	—	就労開始時期は、一番小さい子どもが何歳になるころをお考えですか。 <table><tr><td>母親</td><td>□□歳</td><td>父親</td><td>□□歳</td></tr></table>	母親	□□歳	父親	□□歳	就労開始時期は、一番小さい子どもが何歳になるころをお考えですか。 母親 □□歳 父親 □□歳 問 11 <table><tr><td>回答欄</td></tr><tr><td></td></tr><tr><td>1 年より先、就労したい (就労開始時期は…)</td></tr></table> <table><tr><td></td><td>母親</td><td>父親</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td>歳</td><td>歳</td></tr></table>	回答欄		1 年より先、就労したい (就労開始時期は…)		母親	父親					歳	歳	問 11-2 を削除し、問 11 の回答欄の最下部に統合する。	回答者の負担感を減らすため。
母親	□□歳	父親	□□歳																		
回答欄																					
1 年より先、就労したい (就労開始時期は…)																					
	母親	父親																			
	歳	歳																			
就学前 問 13-1 (5 ページ)	前回(平成 25 年度実施)調査の結果を見ていたら、「その他」と回答した人が多かったので、選択肢に「自分で子育てがしたい」など、選択肢を増やした方がいいのではないかな。	施設・事業(幼稚園・保育所(園)・認定こども園等)を利用していない理由をお答えください。 (略) 10. その他 ()	施設・事業(幼稚園・保育所(園)・認定こども園等)を利用していない理由をお答えください。 (略) 10. <u>自分で子育てがしたい</u> 11. その他 ()	選択肢に「自分で子育てがしたい」を追加する。	適切と思われる選択肢を増やし、回答者の負担感を減らすため。																
就学前 問 16 (8 ページ)	ここで言う「利用者負担が発生する」というのは保育料以外のことを指していると思うが、選択肢に今後、教育・保育の無償化が実施される保育所や幼稚園等があり、回答する際にそれらを選ぶ方は分かりづらいのではないかな。	なお、事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。	なお、事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。 <u>※別途、無償化に関する説明を追加</u>	該当箇所の記載を削除し、別途、説明書き「幼児教育・保育の無償化とは…」を追加する。	幼児教育・保育の無償化について、内容が分かりにくいいため、詳細な説明書きを設けて、認識の誤りがないようにするため。																

該当箇所	主な意見等	修正前	修正後	修正内容	修正理由
就学前 問 16 (8 ページ)	—	—	「 幼児教育・保育の無償化 」が 2019 年 10 月から予定されていますが、 無償化された場合に、お子さんの平日の「定期的に」利用したいと考える施設等 をお答えください。	「無償化された場合」に定期的に利用したい施設等を確認する設問を追加する。	無償化の実施を踏まえた利用意向を把握するため。
就学前 問 28 (15 ページ)	選択肢「17. 子育てによる身体・精神の疲れが大きい」で「身体」と「精神」に選択肢を分けるべきではないか。	子育てに関して、日頃悩んでいること、または、気になることはどのようなことですか。 (略) 17. 子育てによる身体・精神の疲れが大きい 18. 子育てに孤独感を感じる (略)	子育てに関して、日頃悩んでいること、または、気になることはどのようなことですか。 (略) 17. 子育てによる身体・ 精神 の疲れが大きい <u>18. 子育てによる精神の疲れが大きい</u> <u>19. 子育てに孤独感を感じる</u> (略) <u>※以下、選択肢番号+1 する。</u>	選択肢を「子育てによる身体の疲れが大きい」と「子育てによる精神の疲れが大きい」に分ける。	現状の項目では「身体かつ精神の疲れが大きい」という解釈をする可能性があるが、主旨としては「かつ」「または」の両方の意味を持つため、間違わないように分ける。
就学前 問 28-5 (16 ページ)	特定の選択肢を選んだ方に問うのではなく、全員に回答してもらい、集計する際に、特定の選択肢を選んだ人をピックアップする方法が良いのではないか。	問 28 で「15. 自分は子育てに向いていないと思う」「16. 子どものことをかわいいと思えないことがある」「17. 子育てによる身体・精神の疲れが大きい」「18. 子育てに孤独感を感じる」に○をつけた方に伺います。	問 28 で「15. 自分は子育てに向いていないと思う」「16. 子どものことをかわいいと思えないことがある」「17. 子育てによる身体・精神の疲れが大きい」「18. 子育てに孤独感を感じる」に○をつけた方に伺います。全ての方にうかがいます。	「全ての方にうかがいます。」に変更する。	特定の選択肢を選んだのかどうか回答者が確認する手間が増えるなどし、回収率が下がる可能性もあり、回答者へ配慮した聞き方に改めるため。
	選択肢「5. 人格を否定することがある」の内容は具体的に分かりやすく表記した方が良いのではないか。	あなたは今までに宛名のお子さんに対して次のようなことがありましたか。 (略) 5. 人格を否定することがある。 (略)	あなたは今までに宛名のお子さんに対して次のようなことがありましたか。 (略) 5. <u>産まなければよかったなど、ネガティブな言葉で非難した</u> 人格を否定する ことがある。 (略)	「5. 産まなければよかったなど、ネガティブな言葉で非難したことがある」に変更する。	具体的なイメージをもってもらい、正確な理解のもとで回答してもらうよう改めるため。
	選択肢に「子どもの前で喧嘩することがある」や「子どもだけで留守番をさせることがある」などを追加しても良いのではないか。	(略) 10. その他 ()	(略) <u>10. 子どもの前で喧嘩することがある</u> <u>11. 子どもだけで留守番させることがある。</u> <u>12. その他 ()</u>	選択肢に「子どもの前で喧嘩することがある」「子どもだけで留守番をさせることがある」を追加する。	ネグレクトに分類される虐待の内容についても選択肢として増やしておくため。
	頻度を回答させるべきではないか。	※第 1 回計画策定部会（資料 2-3）参照	※別添「調査票（就学前）」のとおり	回答方法を、それぞれに選択肢に「何度もあった」「1～2 回程度あった」「まったくなかった」のいずれかに○をつける方法に変更する。	頻度別に把握した方が効果的であるため。

該当箇所	主な意見等	修正前	修正後	修正内容	修正理由
就学前 問 31 (18 ページ)	—	下記の子育て支援に関わるサービスを知っていますか。また、これまでに利用したことや、今後利用したいかについてはどうですか。項目ごとに、《認知度・利用状況・今後の利用意向》のそれぞれについて、当てはまる答えのいずれかに○をつけてください。 (略) 16. その他（			

該当箇所	主な意見等	修正前	修正後	修正内容	修正理由
小学生 問 11 (3ページ)	選択肢「3. 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」は「習い事（学習塾）」と「習い事（その他）」に分ける方がいいのではないか。	宛名のお子さんを放課後どのような場所で過ごさせたいと思いますか。 (略) 3. 習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など) (略)	宛名のお子さんを放課後どのような場所で過ごさせたいと思いますか。 (略) 3. 習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など) 4. 習い事(ピアノ教室、サッカークラブなど) (略) ※以下、選択肢番号+1 する。	選択肢「3. 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」を「習い事（学習塾）」と「習い事（ピアノ教室、サッカークラブなど）」に分ける。	習い事の中でも、「学習塾」と「それ以外」では、学習させたいか、そうではないかで主旨が異なるため、それぞれ分けて選択肢を設けたため。
	選択肢「6. ファミリーサポートセンター」のみ「場所」ではなく、他の選択肢とは概念が異なるのではないか。	(略) 6. ファミリーサポートセンター (略)	(略) 左欄のとおり	—	「場所」という概念で表記する場合、「ファミリーサポートセンターに登録している協会の会員の自宅など」という分かりづらい表記となってしまうため。
	—	宛名のお子さんを放課後どのような場所で過ごさせたいと思いますか。	宛名 のお子さんを放課後どのような場所で過ごさせていますか。また、どのような場所で過ごさせたいと思いますか。	回答欄に「現状（実態）」を追加する。	現状を把握し、比較することで、より正確な利用のニーズを把握するため。
小学生 問 12 (4ページ)	—	宛名のお子さんは、現在、児童ホームを利用していますか。	宛名のお子さんは、現在、児童ホームを利用していますか。	問 11「現状（実態）」に統合する。	回答者の負担感を減らすため。
		現在、どのくらい利用していますか。また、土曜日の利用の有無についてお答えください。	現在、どのくらい利用していますか。また、土曜日の利用の有無についてお答えください。		
	—	児童ホームを利用していない主な理由について、お答えください。 (略) 3. 利用できる対象年齢ではないから (略) 8. その他（ ）	児童ホームを利用していない主な理由について、お答えください。 (略) 3. 祖父母等見てくれる人がいるから利用できる対象年齢ではないから (略) 8. 使い勝手が悪い 9. その他（ ）	選択肢「3. 利用できる対象年齢ではないから」を「3. 祖父母等見てくれる人がいるから」に変更する。 選択肢「使い勝手が悪い」を追加する。	小学校 4～6 年生も児童ホームを利用することができるようになったため、「3.」の選択肢を改め、可能性の高い選択肢を加え、回答者が答えやすいようにしたため。
	児童ホームを利用するまでもなく、こどもクラブを現在利用している方から、利用しづらいといった意見があることから、こどもクラブの利用状況や満足度などについての設問を設けてはどうか。	—	※別添「調査票（小学生）」のとおり	こどもクラブの「利用している理由」「利用していない理由」について新たに設問項目を追加する。	こどもクラブを「利用している理由」及び「利用していない理由」について把握し、今後の施策に結びつけていくため。

該当箇所	主な意見等	修正前	修正後	修正内容	修正理由
小学生 問 13 (4 ページ)	対象が「〇年生になる前まで」なのか「〇年生の終わりまで」なのかが分からないので、明確にする方が良いのではないかと。	(略) 4 年まで利用したい 5 年まで利用したい 6 年まで利用したい	(略) 4 年 <u>生の終わり</u> まで利用したい 5 年 <u>生の終わり</u> まで利用したい 6 年 <u>生の終わり</u> まで利用したい	「〇年生の終わりまで利用したい」に表記変更する。	解釈が分かれないう、正確な表記に改めるため。
	—	—	児童ホームの閉まる時間（18 時）以降にファミリーサポートセンターを活用したいですか。 ※選択肢（はい・いいえ・どちらともいえない）	新規「児童ホームの閉まる時間（18 時）以降にファミリーサポートセンターを活用したいですか。」を追加する。 ※選択肢（はい・いいえ・どちらともいえない）	児童ホームの閉所時間が延長されない場合に、ファミリーサポートセンターの利用ニーズがあるのかどうかの確認を行うため。
小学生 問 20-2 (7 ページ)	小学生の保護者向けの調査票の選択肢に「4. 5 歳児健診」は入れなくても良いのではないかと。	(略) 4. 5 歳児健診 (略)	(略) 4. 5 歳児健診（削除） (略) ※以下、選択肢番号-1 する。	「4. 5 歳児健診」を削除する。	対象が「世帯で一番下の子ども」となっているため、小学生の保護者向けの調査票にこの選択肢は不要のため。
小学生 問 20-5 (8 ページ)	特定の選択肢を選んだ方に問うのではなく、全員に回答してもらい、集計する際に、特定の選択肢を選んだ人をピックアップする方法が良いのではないかと。	問 20 で「15. 自分は子育てに向いていないと思う」「16. 子どものことをかわいいと思えないことがある」「17. 子育てによる身体・精神の疲れが大きい」「18. 子育てに孤独感を感じる」に○をつけた方に伺います。	問 20 で「15. 自分は子育てに向いていないと思う」「16. 子どものことをかわいいと思えないことがある」「17. 子育てによる身体・精神の疲れが大きい」「18. 子育てに孤独感を感じる」に○をつけた方に伺います。全ての方にうかがいます。	「全ての方にうかがいます。」に変更する。	特定の選択肢を選んだのかどうか回答者が確認する手間が増えるなどし、回収率が下がる可能性もあり、回答者へ配慮した聞き方に改めるため。
	選択肢「5. 人格を否定することがある」の内容は具体的に分かりやすく表記した方が良いのではないかと。	あなたは今までに宛名のお子さんに対して次のようなことがありましたか。 (略) 5. 人格を否定することがある。 (略)	あなたは今までに宛名のお子さんに対して次のようなことがありましたか。 (略) 5. <u>産まなければよかったなど、ネガティブな言葉で非難した人格を否定することがある。</u> (略)	「5. 産まなければよかったなど、ネガティブな言葉で非難したことがある」に変更する。	具体的なイメージをもってもらい、正確な理解のもとで回答してもらうよう改めるため。
	選択肢に「子どもの前で喧嘩することがある」や「子どもだけで留守番をさせることがある」などを追加しても良いのではないかと。	(略) 10. その他（ ）	(略) <u>10. 子どもの前で喧嘩することがある</u> <u>11. 子どもだけで留守番させることがある。</u> <u>12. その他（ ）</u>	選択肢に「子どもの前で喧嘩することがある」「子どもだけで留守番をさせることがある」を追加する。	ネグレクトに分類される虐待の内容についても選択肢として増やしておくため。
	頻度を回答させるべきではないかと。	※第 1 回計画策定部会（資料 2-4）参照	※別添「調査票（小学生）」のとおり	回答方法を、それぞれに選択肢に「何度もあった」「1～2 回程度あった」「まったくなかった」のいずれかに○をつける方法に変更する。	頻度別に把握した方が効果的であるため。

該当箇所	主な意見等	修正前	修正後	修正内容	修正理由
小学生 問 23 (10 ページ)	—	下記の子育て支援に関わるサービスを知っていますか。また、これまでに利用したことや、今後利用したいかについてはどうですか。項目ごとに、《認知度・利用状況・今後の利用意向》のそれぞれについて、当てはまる答えのいずれかに○をつけてください。 (略) 11. スクールカウンセラー (略) 18. その他 ()	下記の子育て支援に関わるサービスを知っていますか。また、これまでに利用したことや、今後利用したいかについてはどうですか。項目ごとに、《認知度・利用状況・今後の利用意向》のそれぞれについて、当てはまる答えのいずれかに○をつけてください。 (略) 11. スクールカウンセラ ー <u>リング</u> (略) <u>18. 子ども食堂</u> <u>19. 子どもの育ち支援センター</u> <u>20. ユース交流センター</u> <u>21. その他 ()</u>	事業名称「スクールカウンセリング」に修正する。 選択肢に「子ども食堂」「子どもの育ち支援センター」「ユース交流センター」を追加する。 ※「子どもの育ち支援センター」「ユース交流センター」の回答欄は、認知度（はい・いいえ）、利用状況（-）、今後の利用意向（はい・いいえ・どちらともいえない）とする。	今後、尼崎市において重点的に取り組んでいこうとしている各種事業等についての認知度や今後の利用意向について把握したいため。
小学生 問 24 (11 ページ)	—	尼崎市の子ども・子育てに関する施策で、さらに充実させてほしいものをお選びください。 (略) 6. 病気や障害のある子どもとその家庭への支援 (略)	尼崎市の子ども・子育てに関する施策で、さらに充実させてほしいものをお選びください。 (略) <u>6. 不登校に関する取組</u> <u>7. 発達・発育に関する取組</u> <u>8. 病気や障害のある子どもとその家庭への支援</u> (略) <u>※以下、選択肢番号+2 する。</u>	選択肢に「不登校に関する取組」「発達・発育に関する取組」を追加する。	今後、尼崎市において重点的に取り組んでいこうとしている内容であり、市民ニーズに合致しているかの確認をするため。
高学年 問 1 (1 ページ)	—	あなたの性別。 1. 男 2. 女	<u>(削除)</u>	「性別」の設問を削除する。	分析時において特に把握する必要がないため。
高学年 問 1・2 (1 ページ)	回答欄（数字記入部分）は例を表記した方が良いのではないかな。	午前□□時□□分ごろに起きる 午後□□時□□分ごろに寝る	<u>(例)</u> <u>午前 0 7 時 0 0 分ごろにおきる</u> 午前____時____分ごろにおきる <u>(例)</u> <u>午後 0 9 時 0 0 分ごろにねる</u> 午後____時____分ごろにねる	例示を回答欄に表記する。	回答者（児童）に配慮し、どのように記入したらよいのか分かりやすくするため。

該当箇所	主な意見等	修正前	修正後	修正内容	修正理由
高学年 問 6・7 (1 ページ・ 2 ページ)	小学 4 年生くらいでは「(○は 3 つまで)」という言葉の意味の解釈が難しいのではないかな。	(○は 3 つまで)	(○は <u>1 つから</u> 3 つまで)	「1 つから」という文言を追加する。	子どもに分かりやすく説明することで、誤回答を防ぐなどのため。
高学年 問 8 (2 ページ)	選択肢「7. 保健室の先生、スクールカウンセラー」は「保健室の先生」と「スクールカウンセラー」に分ける方がいいのではないかな。 また、選択肢に「スクールソーシャルワーカー」を追加してはどうか。	心配ごとやなやみがあるとき、話したり、相談したりできる人がいますか。 (略) 7. 保健室の先生、スクールカウンセラー (略)	心配ごとやなやみがあるとき、話したり、相談したりできる人がいますか。 (略) 7. 保健室の先生、スクールカウンセラー <u>8. スクールカウンセラー</u> <u>9. スクールソーシャルワーカー</u> (略) <u>※以下、選択肢番号+2 する。</u>	選択肢「7. 保健室の先生、スクールカウンセラー」を「保健室の先生」と「スクールカウンセラー」に分け、新たに「スクールソーシャルワーカー」を選択肢に追加する。	「保健室の先生」と「スクールカウンセラー」は、目的が異なる存在なので分けて選択肢を設けたため。 また、スクールソーシャルワーカーの活動も広く認知されてきているので、可能性の高い選択肢を加え、回答者（児童）が答えやすいようにしたため。
共通事項 就学前 小学生 (1 ページ)	—	—	<u>※ この調査票において「お子さん」とは、この調査票を送付した際の封筒の「宛名のお子さん」のことを指します。</u>	タイトルの直下に注意書きを追記する。	「宛名のお子さん」を「お子さん」に置き換えることで分かりやすくするため。
共通事項 就学前 小学生 高学年	漢字が読めない方もいると思うので、ふりがなを振るなどした方が良いのではないかな。	—	—	難しい漢字や読み間違い可能性のある漢字については平仮名に置き換える。	回答者の正確な理解のもとで回答してもらうようにするため。
	数字の記入枠や字が小さく、読みづらいので、大きくした方が良いのではないかな。	—	—	全体的に字のフォントサイズを大きくし、字体も読みやすいものに変換する。(見出し：ゴシック、本分：明朝 など)	回答者の負担感を減らすため。
	設問間の間隔が狭く読みづらいので、広げた方が良いのではないかな。	—	—	1 ページあたりの設問数を減らし、かつ、次の設問との間隔を広げる。	回答者の負担感を減らすため。

尼崎市 子ども・子育て支援に係るニーズ調査（案）

～ ご協力をお願い ～

平素は、本市行政にご理解とご協力いただき、厚く御礼申し上げます。

現在、本市では、子どもの育成や子育て家庭への支援に当たっての基本的な考え方などを定めた「次世代育成支援対策推進行動計画」（平成28年度～平成31年度）、平成27年度からスタートした「子ども・子育て支援新制度」への対応としての「子ども・子育て支援事業計画」（平成27年度～平成31年度）を策定し、子ども・子育て支援施策を計画的・総合的に推進しております。

次期計画の策定に当たり、幼児教育・保育サービスや地域の子ども・子育て支援事業に係る必要な「量の見込み」を算出するため、実際に子育てに関わる市民の皆さんの、これらのサービスや事業の「現在の利用状況」や「今後の利用希望」を把握するため、この調査を行います。

この調査を実施するに当たっては、対象となるお子さんがいる市内の世帯の中から6,000人を無作為に選び、送付させていただいております。ご回答いただいた調査内容は、今後の子育て支援施策を進めていくための基礎資料としてのみ利用させていただくものですので、回答者個人が特定されたりすることは一切ございませんし、回答内容によって、施設や事業の利用の可否を決定することはありません。

つきましては、お忙しい中、お手数おかけしますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成30年11月 尼崎市長 稲村 和美

～ご記入にあたって～

1. 対象のお子さんの保護者の方がご記入ください。（対象のお子さんが小学校高学年の場合は一部、お子さん本人に記入いただく内容がございます。）
2. 封筒の宛名のお子さんについてご記入ください。
3. 設問によっては、ご回答いただく方が限られる場合がございます。（ことわり書きや矢印等に従ってご回答ください。特にことわり書き等ない場合は、次の設問にお進みください。）

●ご記入が済みましたら、お手数ですが、同封の返信用封筒に入れて、切手を貼らずにポストにご投函ください。

提出期限：平成30年〇〇月〇〇日（〇）

●ご不明な点、調査に関するお問い合わせ等は、下記までお願いいたします。

尼崎市 こども青少年本部事務局 こども青少年部 こども政策課
電 話：06-6489-6341
ファクス：06-6489-6805
Eメール：ama-kodomoseisaku@city.amagasaki.hyogo.jp

用語の説明について＜就学前＞（案）

あ

あまっこねっと

登録されたメールアドレスに子育てで便利情報、尼崎市からのお知らせ、市政アンケートを配信。

い

育児支援専門員派遣事業

乳幼児等の養育について、支援が必要な家庭に、専門員を継続して派遣し、家庭での安定した養育が可能となるよう支援する事業。

一時預かり

保護者が1～3日程度、断続的に働く時、保護者んぼ病気やケガによる入院、育児の負担軽減のためのリフレッシュなどにより、幼稚園・保育所などの施設やサービスで一時的にその方の子どもを預かる事業。
対象は就学前の子ども。

保育所（園）

- 実施保育所
 - ☎ こども入所支援担当（TEL06-6489-6369）
お問い合わせください。
- 費用（子ども1人1日あたり）
 - ☎ 0歳児 : 2,800円
 - 1～2歳児 : 2,500円
 - 3歳児以上 : 2,000円

すこやかプラザ・

つどいの広場（あみんぐステーション、えがお、わらべ）

- 開設日 / 各施設の開設日と同じ
- 開設時間 / 10時～15時
- 費用（子ども1人1時間あたり） / 700円

その他、民間施設でも実施

か

家庭児童相談

電話や来所面接、家庭訪問等の方法で、家庭児童相談員が育児やしつけなど、子育てに関わる様々な相談に対応。

こ

子育てサークル

市内各地で、保護者同士が集まり、助け合い、子育ての不安や孤独感の解消等を目指すサークル活動。

- 費用 / 各サークルで会費を徴収

こどもクラブ（放課後子ども教室）

放課後、子どもたちが安心して遊べる場と、良年齢が交流する場として、全小中学校に設置。

- 対象 / 小学生
- 開設日 / 日曜日、祝日、年末年始を除く毎日
- 開設時間 /
 - ☎ 通常の授業日は午後1時～学校の下校時刻
（学校により異なります。）
 - ☎ 土曜日や春・夏・冬休みなどの学校休業日（日曜日・祝日・年末年始を除く）は午前9時～正午、午後1時～学校の下校時刻

こ

子ども・子育て支援新制度

幼児期の学校教育と保育の総合的な提供や保育の量的な拡大等を趣旨とし、平成27年4月から本格的にスタートした制度。

子ども食堂

子どもやその親、および地域の人々に対し、無料または安価で栄養のある食事や温かな団らんを提供するための社会活動。孤食の解決、子どもと大人たちの繋がりや地域のコミュニティの連携の有効な手段にもなっている。

子どもの育ち支援センター

児童虐待・不登校・発達障害など、様々な課題を抱える子どもや子育て家庭に寄り添い、関係機関等が連携しながら、切れ目なく子どもの育ちを支援するセンターとして、平成31年10頃に開設予定。

こんにちは赤ちゃん事業（乳幼児全戸訪問事業）

生後2か月頃の赤ちゃんがいる家庭を保育士が訪問し、子育ての相談を受けたり、子育てに役立つ情報を届けたりする事業。

し

児童発達支援センター

地域の障害のある子どもを対象として、日常生活における基本的動作の指導、知識の付与または集団生活への適応のための訓練等を行う施設。

児童ホーム（放課後児童クラブ）

放課後、遊びを通して生活指導等を行う場として、全小中学校に設置。

- 対象 / 就労などで保護者が昼間不在の小学生
- 開設日 / 日曜日、祝日、年末年始を除く毎日
- 開設時間 /
 - ☎ 通常の授業日は正午～午後5時
 - ☎ 春・夏・冬休みなどの学校休業日（日曜日・祝日・年末年始を除く）は午前8時30分～午後5時
 - ☎ 11月1日～12月28日は午後4時45分まで
（希望があれば午後5時まで）
 - ☎ 延長時間 午後5時～6時（日曜日、祝日、年末年始を除く）
- 費用（月額） / 児童育成料：10,000円（所得により減免あり）
※ 他にスポーツ安全保険料が必要

す

つ

すこやかプラザの子育て支援ゾーン、 つどいの広場（地域子育て支援拠点事業）

主に就学前の子どもとその保護者が、気軽に集い、仲間づくりや情報交換ができる交流の場。

- 開設時間 / 概ね 10 時～15 時（施設により異なる）
- 実施施設 /

施設名	住 所	休館日
すこやかプラザ※	七松町 1 丁目 3-1-502 フェスタ立花南館 5 階	水曜日
わいわい ステーション	南塚口町 2 丁目 4-23 アラカサビル 4F	日・月曜日
こんべいとう	南武庫之荘 1 丁目 1-18-11-102	土・日曜日
びすけっと	稲葉荘 1 丁目 7-21 木村ビル	土・日曜日
のびのび ステーション	杭瀬北新町 3 丁目 16-7	土・日曜日
きらきら	食満 1 丁目 3-15	土・日曜日
あみんぐ ステーション※	潮江 2 丁目 28-47	月・火曜日
えがお※	御園町 5 番地 尼崎土井ビルディング 2F	土・日曜日
わらべ※	東園田町 5 丁目 34-28	土・日曜日
どろっぶす	武庫元町 2 丁目 12-1 フェルティ武庫元町 205	日・月曜日
ちびっこ ステーション ひだまり	上坂部 3 丁目 21-1	日・月曜日

※ 一時預かりも実施

に

認定こども園

保護者が働いている、いないに関わらず、子どもを受け入れて、教育と保育を一体的に行う機能や、すべての子育てで家庭を対象に、子育ての不安に対応した相談活動や、親子の集いの場の提供などを行う機能を備えた施設。

- 対象・経費 / 各園により異なる
- 実施施設 /

- | | |
|----------------|-------------|
| ○ 開明かしの木子ども園 | ○ 難波愛の園幼稚園 |
| ○ くいせようちえん | ○ はまようちえん |
| ○ しもさかべ幼稚園 | ○ 梅花東幼稚園 |
| ○ 七松幼稚園 | ○ キンダー・メーソン |
| ○ めぐみ幼稚園 | ○ 立花愛の園幼稚園 |
| ○ ベビー・メーソン | ○ 武庫愛の園幼稚園 |
| ○ 武庫庄保育園（分園含む） | ○ 百合学院幼稚園 |

妊婦健康診査費用の一部助成

産科・婦人科等で実施される妊婦健診にかかる費用のうち、尼崎市が認める健診内容に対して費用を助成する事業。

ひ

病児・病後児保育事業

保護者の就労等の理由により、病気の回復途中で、幼稚園、保育所（園）等で野集団保育が難しい子どもを一時的に医療機関に併設された保育室で保育・看護する事業。

- 対象 / 小学校 6 年生以下の子ども
- 実施施設 /

- 小中島診療所内病児保育室 キッズケアハウス
- 高原クリニック内病児保育室
- 堀内小児科むこのそ病児保育室
- 兵庫県立尼崎総合医療センター病児・病後児保育室

- 費用（子ども 1 人 1 日あたり） / 2,000 円（診察料は別途必要）

ふ

ファミリーサポートセンター事業

育児の援助を受けたい人と協力したい人がそれぞれ会員登録し、有償で託児や保育施設への送迎をするなど、お互いに助け合う事業。尼崎社会福祉協議会がその仲立ちをしている。

- 対象 / 小学校 6 年生以下の子ども
- 費用（子ども 1 人 1 時間あたり） / 800～900 円

ほ

保育所（園）

仕事や病気等のため、家庭で保育ができない保護者に代わり、その子どもを養護・保育する、児童福祉法に基づく児童福祉施設。

- 対象 / 就学前の子ども
- 開所時間 / 11 時間程度
- 費用 / 世帯の所得税額などを基準に決定

ゆ

ユース交流センター

青少年の健全な育成と福祉の増進を図るための各種事業を推進するとともに、学びと育ちに関わる市民・団体の交流も図るため、あまがさき・ひと咲きプラザ内に平成 3 1 年 1 0 頃に開設予定。

よ

幼稚園

義務教育やその後の教育の基礎を培うものとして、幼児を保育し、その心身の発達を助長することを目的とする学校教育法に基づく学校。

- 対象 / 満 3 歳から 5 歳までの子ども
- 開所時間 / 4 時間程度
- 費用 /

- ☞ 公立幼稚園：入園料 10,000 円、保育料 9,100 円/月
- 私立幼稚園：各園により異なる

幼稚園の預かり保育

私立幼稚園で実施されている、園児の保護者の希望により、在園児を夕方までや長期休暇中に保育する事業。園によっては、「○○クラス」「○○教室」「○○ルーム」などと呼ばれている。

- 保育時間・費用 / 各園により異なる

用語の説明について＜小学生＞（案）

あ

あまっこねっと

登録されたメールアドレスに子育てで便利情報、尼崎市からのお知らせ、市政アンケートを配信。

い

いきいきあまっ子リーダースクール

キャンプなどの野外活動やレクリエーション活動、また、ボランティア活動などの、年間を通じたカリキュラムを通して、社会性・自立性・リーダーシップなどを醸成し、地域活動やこどもクラブ活動などにおけるリーダーの育成を行う。

か

家庭児童相談

電話や来所面接、家庭訪問等の方法で、家庭児童相談員が育児やしつけなど、子育てに関わる様々な相談に対応。

き

教育相談

4歳（幼稚園・保育所（園））から18歳（高校生）までの子どもに関する教育相談について、電話や来所面接、心療内科医による教育相談を行う。

こ

こどもクラブ（放課後子ども教室）

放課後、子どもたちが安心して遊べる場と、異年齢が交流する場として、全小学校に設置。

- 対象 / 小学生
- 開設日 / 日曜日、祝日、年末年始を除く毎日
- 開設時間 /
 - ☞ 通常の授業日は午後1時～学校の下校時刻（学校により異なります。）
 - ☞ 土曜日や春・夏・冬休みなどの学校休業日（日曜日・祝日・年末年始を除く）は午前9時～正午、午後1時～学校の下校時刻

子ども食堂

子どもやその親、および地域の人々に対し、無料または安価で栄養のある食事や温かな団らんを提供するための社会活動。孤食の解決、子どもと大人たちの繋がりや地域のコミュニティの連携の有効な手段にもなっている。

子どもの育ち支援センター

児童虐待・不登校・発達障害など、様々な課題を抱える子どもや子育て家庭に寄り添い、関係機関等が連携しながら、切れ目なく子どもの育ちを支援するセンターとして、平成31年10頃に開設予定。

し

思春期健康教育

各学校において、小学生、中学生、高校生への性教育などを行う。

児童ホーム（放課後児童クラブ）

す

スクールソーシャルワーク

不登校や非行など要支援の子どもを早期に発見し、また、適切に支援するため、専門員が学校現場などに外向き、問題の背景要因や支援方針の調整、関係機関との連携を促進するなどのスクールソーシャルワークを行う。

せ

青少年の居場所づくり事業

青少年センターを中心として実施している、子どもたちが気軽に立ち寄り、安心して「居る」ことができる環境づくり事業。

は

母親クラブ

家庭における児童の健全育成を地域住民の立場から支える地域組織活動。

ひ

病児・病後児保育事業

保護者の就労等の理由により、病気の回復途中で、幼稚園、保育所（園）等で野集団保育が難しい子どもを一時的に医療機関に併設された保育室で保育・看護する事業。

- 対象 / 小学校6年生以下の子ども
- 実施施設 /
 - 小中島診療所内病児保育室 キッズケアハウス
 - 高原クリニック内病児保育室
 - 堀内小児科むこのそう病児保育室
 - 兵庫県立尼崎総合医療センター病児・病後児保育室
- 費用（子ども1人1日あたり） / 2,000円（診察料は別途必要）

ふ

ファミリーサポートセンター事業

育児の援助を受けたい人と協力したい人がそれぞれ会員登録し、有償で託児や保育施設への送迎をするなど、お互いに助け合う事業。尼崎社会福祉協議会がその仲立ちをしている。

- 対象 / 小学校6年生以下の子ども
- 費用（子ども1人1時間あたり） / 800～900円

ゆ

ユース交流センター

青少年の健全な育成と福祉の増進を図るための各種事業を推進するとともに、学びと育ちに関わる市民・団体の交流も図るため、あまがさき・ひと咲きプラザ内に平成31年10頃に開設予定。

中学校第1学年 学習についてのアンケート

組 番 名前

■あなたのことについて、あてはまるものを右の1～4から1つ選びなさい。

- | | とても
あてはまる | まあ
あてはまる | あまり
あてはま
らない | まったく
あてはま
らない |
|--|--------------|-------------|--------------------|---------------------|
| (1) 友だちと外で遊んでいる。 | 1 | — 2 | — 3 | — 4 |
| (2) ゲーム機やケータイ、スマートフォンでゲームをしている。 | 1 | — 2 | — 3 | — 4 |
| (3) 本や新聞を読んでいる。 | 1 | — 2 | — 3 | — 4 |
| (4) パソコンやインターネットを使う。 | 1 | — 2 | — 3 | — 4 |
| (5) 放課後や土曜日などに、学校の活動や集まりがあれば、参加している。 | 1 | — 2 | — 3 | — 4 |
| (6) ゲーム機やケータイ、スマートフォンでゲームをするときは、家の人と時間についてルールを決めている。(ゲームをしない人は、1番を選んでください。) | 1 | — 2 | — 3 | — 4 |
| (7) ケータイやスマートフォンで電話やメールをするときは、家の人と時間を決めている。(ケータイやスマートフォンで電話やメールをしない人は、1番を選んでください。) | 1 | — 2 | — 3 | — 4 |
| (8) 家の人は自分のことを気にかけてくれていると思う。 | 1 | — 2 | — 3 | — 4 |
| (9) 今まで教えてもらった学校の先生は、自分のことを認めてくれていたと思う。 | 1 | — 2 | — 3 | — 4 |
| (10) 勉強やスポーツのことで、家の人が応えんしてくれる。 | 1 | — 2 | — 3 | — 4 |
| (11) 将来の夢やこれからの進路について家の人と話をする。 | 1 | — 2 | — 3 | — 4 |
| (12) 新聞に書かれていることについて家の人と話をする。 | 1 | — 2 | — 3 | — 4 |
| (13) 朝食は毎日食べている。 | 1 | — 2 | — 3 | — 4 |
| (14) 朝、起こされなくても自分で起きている。 | 1 | — 2 | — 3 | — 4 |
| (15) 夜は決まった時間にねている。 | 1 | — 2 | — 3 | — 4 |
| (16) 家の人からたよりにされて、何かの役割をまかされている。 | 1 | — 2 | — 3 | — 4 |
| (17) 食器の後かたづけなど、自分のことは自分でしている。 | 1 | — 2 | — 3 | — 4 |
| (18) ふだんから「不思議だな」「なぜだろう」と感じることもある。 | 1 | — 2 | — 3 | — 4 |
| (19) 本やドラマなどを見て、人の生き方に感動することもある。 | 1 | — 2 | — 3 | — 4 |
| (20) 学習していて、おもしろい、楽しいと思うことがある。 | 1 | — 2 | — 3 | — 4 |
| (21) 学習して身につけた知識は、いずれ仕事や生活の中で役に立つと思う。 | 1 | — 2 | — 3 | — 4 |
| (22) 学習して、わかったりできたりすることが増えるのは、うれしい。 | 1 | — 2 | — 3 | — 4 |
| (23) 学校に行くのが楽しい。 | 1 | — 2 | — 3 | — 4 |
| (24) 同じまちがいをしないように気をつけている。 | 1 | — 2 | — 3 | — 4 |
| (25) 努力をすれば、自分もたいていのことはできると思う。 | 1 | — 2 | — 3 | — 4 |

		とても あてはまる	まあ あてはまる	あまり あてはま らない	まったく あてはま らない
(26)	ものごとを最後までやりとげて、うれしかったことがある。	1	— 2	— 3	— 4
(27)	黒板に書かれていないことでも、大事なことはノートに書きとめている。	1	— 2	— 3	— 4
(28)	テストでまちがえた問題は、もう一度やり直している。	1	— 2	— 3	— 4
(29)	授業で学んだことを自分なりにノートにまとめ直している。	1	— 2	— 3	— 4
(30)	新しく習ったことは、何度もくり返して練習している。	1	— 2	— 3	— 4
(31)	授業で習ったことはそのまま覚えるのではなく、その理由や考え方もいっしょに理解しようとしている。	1	— 2	— 3	— 4
(32)	授業で習ったことをふだんの生活と結びつけて考えている。	1	— 2	— 3	— 4
(33)	習った内容の中で、何がまだ理解できていないか、わかっている。	1	— 2	— 3	— 4
(34)	その日のめあてを決めて、授業や家で学習に取り組んでいる。	1	— 2	— 3	— 4
(35)	自分で学習の計画を立てている。	1	— 2	— 3	— 4
(36)	目標に向けて、ふだんからこつこつ学習している。	1	— 2	— 3	— 4
(37)	わからないことはそのままにせず、わかるまで努力している。	1	— 2	— 3	— 4
(38)	学習を始めたら、他のことに気をとられないで、集中している。	1	— 2	— 3	— 4
(39)	かんちがいや思いこみがないか、しっかり見直しをしている。	1	— 2	— 3	— 4
(40)	正しい姿勢で学習している。	1	— 2	— 3	— 4
(41)	必要なものをきちんとそろえてから、学習を始めている。	1	— 2	— 3	— 4
(42)	授業を集中して受けている。	1	— 2	— 3	— 4
(43)	調べてわかったことをもとに、考えをまとめることができる。	1	— 2	— 3	— 4
(44)	筋道を立てて、ものごとを考えることができる。	1	— 2	— 3	— 4
(45)	自分の意見や考えを相手にわかりやすく伝えることができる。	1	— 2	— 3	— 4
(46)	調べたことを、パソコンを使ってまとめたり、発表したりすることができる。	1	— 2	— 3	— 4
(47)	テレビのニュースや新聞などで、最近の社会のできごとをよく知っている。	1	— 2	— 3	— 4
(48)	社会で問題になっていることについて、どうすればよいか、考えたことがある。	1	— 2	— 3	— 4
(49)	自分がやらなければならないことは、責任を持ってやりぬくことができる。	1	— 2	— 3	— 4
(50)	難しいことでも、失敗をおそれないで、取り組んでいる。	1	— 2	— 3	— 4
(51)	いつも新しいアイデアを考えたり、工夫したりしている。	1	— 2	— 3	— 4
(52)	自分とちがう意見も尊重している。	1	— 2	— 3	— 4

■あなたは、次の教科などの勉強はどれくらい好きですか？ 右の1～4の中から1つ選びなさい。

		とても 好き	まあ 好き	あまり 好きでは ない	好きでは ない
(55)	国語	1	2	3	4
(56)	社会	1	2	3	4
(57)	数学	1	2	3	4
(58)	理科	1	2	3	4
(59)	音楽	1	2	3	4
(60)	美術	1	2	3	4
(61)	保健体育	1	2	3	4
(62)	技術	1	2	3	4
(63)	家庭	1	2	3	4
(64)	英語	1	2	3	4
(65)	総合的な学習の時間	1	2	3	4
(66)	道徳	1	2	3	4
(67)	学級活動	1	2	3	4

■あなたは、次の教科などの授業が、どれくらいわかっていますか？ 右の1～4の中から1つ選びなさい。

		よく わかって いる	まあ わかって いる	あまり わかって いない	まったく わかって いない
(68)	国語	1	2	3	4
(69)	社会	1	2	3	4
(70)	数学	1	2	3	4
(71)	理科	1	2	3	4
(72)	音楽	1	2	3	4
(73)	美術	1	2	3	4
(74)	保健体育	1	2	3	4
(75)	技術	1	2	3	4
(76)	家庭	1	2	3	4
(77)	英語	1	2	3	4

■あなたのことについて、あてはまるものを下の1～7から1つ選びなさい。

- (78) あなたは、この1か月の間に本を何冊くらい読みましたか。(教科書や参考書、マンガは数にいません。)

0冊	1, 2冊	3, 4冊	5, 6冊	7, 8冊	9, 10冊	11冊以上
1	— 2	— 3	— 4	— 5	— 6	— 7

- (79) あなたは、学校の授業がある月曜日から金曜日に、1日にどれくらいテレビを見ますか。

ほとんど 見ない	30分 くらい	1時間 くらい	1時間30分 くらい	2時間 くらい	2時間30分 くらい	3時間以上
1	— 2	— 3	— 4	— 5	— 6	— 7

- (80) あなたは、土曜日や日曜日など、学校が休みの日に、1日にどれくらいテレビを見ますか。

ほとんど 見ない	30分 くらい	1時間 くらい	1時間30分 くらい	2時間 くらい	2時間30分 くらい	3時間以上
1	— 2	— 3	— 4	— 5	— 6	— 7

- (81) あなたは、学校の授業がある月曜日から金曜日に、1日にどれくらい勉強していますか。
(じゅくで勉強している時間や、家庭教師の先生にみてもらっている時間もふくみます。)

ほとんど しない	30分 くらい	1時間 くらい	1時間30分 くらい	2時間 くらい	2時間30分 くらい	3時間以上
1	— 2	— 3	— 4	— 5	— 6	— 7

- (82) あなたは、土曜日や日曜日など、学校が休みの日に、1日にどれくらい勉強していますか。
(じゅくで勉強している時間や、家庭教師の先生にみてもらっている時間もふくみます。)

ほとんど しない	30分 くらい	1時間 くらい	1時間30分 くらい	2時間 くらい	2時間30分 くらい	3時間以上
1	— 2	— 3	— 4	— 5	— 6	— 7

- (83) あなたは、学校の授業がある月曜日から金曜日に、1日にどれくらいゲームをしますか。

ほとんど しない	30分 くらい	1時間 くらい	1時間30分 くらい	2時間 くらい	2時間30分 くらい	3時間以上
1	— 2	— 3	— 4	— 5	— 6	— 7

- (84) あなたは、土曜日や日曜日など、学校が休みの日に、1日にどれくらいゲームをしますか。

ほとんど しない	30分 くらい	1時間 くらい	1時間30分 くらい	2時間 くらい	2時間30分 くらい	3時間以上
1	— 2	— 3	— 4	— 5	— 6	— 7

■あなたの学校での学習や宿題などについて、あてはまるものを右の1～4から1つ選びなさい。

		とても あてはまる	まあ あてはまる	あまり あてはまら ない	まったく あてはまら ない
(85)	国語の授業で、わからない言葉があれば、国語辞典で調べるようにしている。	1	— 2	— 3	— 4
(86)	国語の授業で、文章の書き方のよい例を参考にして書くことがある。	1	— 2	— 3	— 4
(87)	国語の授業で、物語を作ったことがある。	1	— 2	— 3	— 4
(88)	国語の授業で、グループで話し合いや教え合いをしている。	1	— 2	— 3	— 4
(89)	数学の授業で、グループで協力して問題を解いて発表することがある。	1	— 2	— 3	— 4
(90)	数学の授業で、文章や式、図や表などを組み合わせて自分の考えを説明したことがある。	1	— 2	— 3	— 4
(91)	数学の宿題で、文章題を作ったことがある。	1	— 2	— 3	— 4
(92)	数学の授業で、グループで話し合いや教え合いをしている。	1	— 2	— 3	— 4
(93)	社会の授業で、テレビや電子黒板などを使って、写真や地図・グラフなどを見ることがある。	1	— 2	— 3	— 4
(94)	社会の授業で、調べたことを、新聞形式でまとめたことがある。	1	— 2	— 3	— 4
(95)	社会の授業で、いま、世の中で起こっていることについて、資料をもとにして考えることがある。	1	— 2	— 3	— 4
(96)	社会の授業で、グループで話し合いや教え合いをしている。	1	— 2	— 3	— 4
(97)	理科の授業で、実験や調査に取り組む前に、仮説を立てたり結果を予想したりしている。	1	— 2	— 3	— 4
(98)	理科の授業で、テレビや電子黒板などを使って、実験や観察のようすや自然のいろいろなようすなどについて、写真や映像などを見ることがある。	1	— 2	— 3	— 4
(99)	理科の授業で、実験や調査が終わったあとに、気づいたことや新しい疑問などについて、話し合ったりまとめたりしている。	1	— 2	— 3	— 4
(100)	理科の授業で、グループで話し合いや教え合いをしている。	1	— 2	— 3	— 4
(101)	英語の宿題で、日常的な出来事について、短い英作文を書いたことがある。	1	— 2	— 3	— 4
(102)	英語の授業で、買い物や旅行などの場面を通して、自分で会話を作ってコミュニケーションしている。	1	— 2	— 3	— 4
(103)	英語の授業で、テレビや電子黒板などを使って、映像やアニメーションを見ながら会話練習をしている。	1	— 2	— 3	— 4
(104)	英語の授業で、グループで話し合いや教え合いをしている。	1	— 2	— 3	— 4

■あなたの学級について、あてはまるものを右の1～4から1つ選びなさい。

		とても あてはまる	まあ あてはまる	あまり あてはま らない	まったく あてはま らない
(105)	みんなで決めた学級目標に力を合わせて取り組んでいる学級です。	1	— 2	— 3	— 4
(106)	係や当番の活動に責任を持って取り組む学級です。	1	— 2	— 3	— 4
(107)	自分たちの学習や生活をよくするための話し合いや活動をしている学級です。	1	— 2	— 3	— 4
(108)	生徒会で決めた活動や学校行事に、団結して取り組んでいる学級です。	1	— 2	— 3	— 4
(109)	学年や学校のためになる活動を提案して、進んで取り組んでいる学級です。	1	— 2	— 3	— 4
(110)	楽しむときとまじめに集中するときのけじめをつけることができる学級です。	1	— 2	— 3	— 4
(111)	集合の時間、授業開始の時間、活動終了の時間などを守る学級です。	1	— 2	— 3	— 4
(112)	学級会では、司会や記録を自分たちで担当して話し合いを進める学級です。	1	— 2	— 3	— 4
(113)	発言している人の話を最後までしっかり聞いている学級です。	1	— 2	— 3	— 4
(114)	友だちの話に賛成・反対・つけたしと、つなげるように発言している学級です。	1	— 2	— 3	— 4
(115)	話し合いのとき、考えや意見を進んで出し合う学級です。	1	— 2	— 3	— 4
(116)	異なる意見や提案をよく聞いて、話し合いをまとめることができる学級です。	1	— 2	— 3	— 4
(117)	家庭学習や考査前学習などで、教え合いをしている学級です。	1	— 2	— 3	— 4
(118)	小さなけんかや、トラブルは、話し合いで解決できる学級です。	1	— 2	— 3	— 4
(119)	「ありがとう」を伝え合っている学級です。	1	— 2	— 3	— 4
(120)	授業中、グループ学習やグループ活動でよく協力している学級です。	1	— 2	— 3	— 4
(121)	友だちをばかにしたりからかったりせず、一人ひとりの心や命を大切にしている学級です。	1	— 2	— 3	— 4
(122)	友だちの間に上下関係がなく、だれとでも平等に接している学級です。	1	— 2	— 3	— 4
(123)	友だちのよいところやがんばりを認めて伝え合っている学級です。	1	— 2	— 3	— 4
(124)	男女の仲がよく、共に学んだり活動したりしている学級です。	1	— 2	— 3	— 4
(125)	授業中にむだなおしゃべりをしない学級です。	1	— 2	— 3	— 4

- | | | とても
あてはまる | まあ
あてはまる | あまり
あてはまら
ない | まったく
あてはまら
ない |
|-------|-------------------------------------|--------------|-------------|--------------------|---------------------|
| (126) | あいさつ，服装，持ち物などについて，学校のきまりを守っている学級です。 | 1 | — 2 | — 3 | — 4 |
| (127) | ろうかや教室を整理整頓している学級です。 | 1 | — 2 | — 3 | — 4 |
| (128) | 校外でも人の迷わくにならないように考えて行動できる学級です。 | 1 | — 2 | — 3 | — 4 |

質問は，次のページにもあります。

■あなたの家庭での学習について、あてはまるものを右の1～4から1つ選びなさい。

- | | とても
あてはまる | まあ
あてはまる | あまり
あてはま
らない | まったく
あてはま
らない |
|---|--------------|-------------|--------------------|---------------------|
| (129) 家で学習していて、わからないときは教えてくれる人がいる。 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| (130) 家で学習するときは、苦手な教科もしっかりと学習している。 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| (131) 学校の先生が出した宿題をきちんとやりとげている。 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| (132) 次の日の授業に必要な教科書やノートなどは、前の日に準備している。 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| (133) 自分の得意な分野をさらにのばすために、家で自分なりに学んでいることがある。 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| (134) テレビやラジオをつけないで集中して学習している。 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| (135) 授業で習ったことは、その日のうちに復習している。 | 1 | 2 | 3 | 4 |

■あなたは現在、部活動に参加していますか。下の1～4から1つ選びなさい。

(136)

- 1 部活動に参加し、熱心に活動している。
- 2 部活動に参加しているが、あまり熱心に活動していない。
- 3 以前は参加していたが、現在は参加していない。
- 4 今までに参加したことはない。

■あなたは将来、どの学校まで進みたいですか。下の1～6から1つ選びなさい。

(137)

- 1 高校まで
- 2 専門学校・各種学校まで
- 3 短期大学まで
- 4 四年制大学まで
- 5 大学院まで
- 6 その他

続いて、別紙の質問に答えなさい。

■学習についてのアンケート(別紙) 中学校第1学年

次の質問について、あてはまるものを右の1～4から1つ選びなさい。(答えは、回答用紙の番号をしっかりとぬりつぶしてください)

(138)	自分が住んでいる地域での活動(地域の清そうなど)に参加する。	1 とてもあてはまる	2 まああてはまる	3 あまりあてはまらない	4 まったくあてはまらない
(139)	家の手伝いをする。	1 とてもあてはまる	2 まああてはまる	3 あまりあてはまらない	4 まったくあてはまらない
(140)	自分の考えや気持ちを理解してくれる友だちがいる。	1 とてもあてはまる	2 まああてはまる	3 あまりあてはまらない	4 まったくあてはまらない
(141)	近所の人に会ったとき、あいさつをしている。	1 とてもあてはまる	2 まああてはまる	3 あまりあてはまらない	4 まったくあてはまらない
(142)	家の人といっしょに工作や料理などをする。	1 とてもあてはまる	2 まああてはまる	3 あまりあてはまらない	4 まったくあてはまらない
(143)	家の人や学校の先生以外に、なやみ事などを相談できる大人がいる。	1 とてもあてはまる	2 まああてはまる	3 あまりあてはまらない	4 まったくあてはまらない
(144)	先生や友だちから聞いた学習の方法を参考になっている。	1 とてもあてはまる	2 まああてはまる	3 あまりあてはまらない	4 まったくあてはまらない
(145)	どんな職業や進路が自分に適しているのかを知っている。	1 とてもあてはまる	2 まああてはまる	3 あまりあてはまらない	4 まったくあてはまらない
(146)	将来かなえてみたい夢がある。	1 とてもあてはまる	2 まああてはまる	3 あまりあてはまらない	4 まったくあてはまらない
(147)	学校で学習したことが社会に出たときに役に立った話を、家の人から聞いたことがある。	1 とてもあてはまる	2 まああてはまる	3 あまりあてはまらない	4 まったくあてはまらない
(148)	朝食は家の人といっしょに食べている。	1 とてもあてはまる	2 まああてはまる	3 あまりあてはまらない	4 まったくあてはまらない
(149)	夕食は家の人といっしょに食べている。	1 とてもあてはまる	2 まああてはまる	3 あまりあてはまらない	4 まったくあてはまらない
(150)	家の人から、早ね早起きなど、規則正しく生活するように、言われている。	1 とてもあてはまる	2 まああてはまる	3 あまりあてはまらない	4 まったくあてはまらない
(151)	ふだんから、ちこくや忘れ物をしないようにしている。	1 とてもあてはまる	2 まああてはまる	3 あまりあてはまらない	4 まったくあてはまらない
(152)	人の話は最後まで、きちんと聞いている。	1 とてもあてはまる	2 まああてはまる	3 あまりあてはまらない	4 まったくあてはまらない
(153)	きまりや規則を守っている。	1 とてもあてはまる	2 まああてはまる	3 あまりあてはまらない	4 まったくあてはまらない
(154)	興味を持ったことを、自分から進んで学習している。	1 とてもあてはまる	2 まああてはまる	3 あまりあてはまらない	4 まったくあてはまらない
(155)	お年寄りや障がいのある人に、進んで手助けをしたことがある。	1 とてもあてはまる	2 まああてはまる	3 あまりあてはまらない	4 まったくあてはまらない
(156)	家庭でも、毎日、時間を決めて学習したり、読書をしったりしている。	1 とてもあてはまる	2 まああてはまる	3 あまりあてはまらない	4 まったくあてはまらない
(157)	そうじやボランティア活動は積極的にしている。	1 とてもあてはまる	2 まああてはまる	3 あまりあてはまらない	4 まったくあてはまらない